

令和6（2024）年度
中部環境パートナーシップオフィス運営業務
年間報告書

2025年3月

中部環境パートナーシップオフィス
（運営受託：一般社団法人環境創造研究センター）

令和6(2024)年度 中部環境パートナーシップオフィス運営業務年間報告書

目次

業務概要	1
1 業務実施計画の作成	7
2 EPO 中部・中部 ESD 支援センター運営委員会の設置・開催	23
3 EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センターの基本業務	27
(1) 情報の収集・蓄積・発信に関する業務	27
(2) 相談対応・対話の場づくり	30
(3) 施設の維持・管理	44
4 協働取組の促進のための業務	47
(1) 自治体・協働コーディネーターのネットワークを活用した環境教育の推進	47
(2) 自治体・協働コーディネーターとの連携による実践的な取組（地域循環共生圏フォーラムの開催）	50
(3) 自治体・協働コーディネーター間の情報・意見交換の促進、地域循環共生圏への貢献についてのフィードバック	56
5 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務	67
(1) 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業	67
(2) 身近な自然資本活用に関する意見交換会等の開催	77
(3) グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進事業	80
(4) 地域循環共生圏創造事業の担い手の把握（地域循環共生圏づくり支援体制構築事業の選定団体について）	86
6 中部地方 ESD 活動支援センター業務	89
(1) 自然資本等の活用による ESD 促進（ESD ダイアログの開催）	89
(2) 多様な主体の連携促進、交流機会の提供（学び合いプロジェクト）	93
(3) ESD に関するネットワークの構築、地域 ESD 拠点への支援	108
(4) SDGs 学生サミットの開催	112
(5) 全国センターとの連携協力推進等	114
(6) ESD 推進のための教育現場等の実態把握と連携強化	115
(7) ESD/EPO の行事等を通じた意識や行動の変容の把握	122
7 関係主体との連携及び協働に関する業務	125
(1) 中部地方環境事務所との情報共有及び意見交換	125
(2) 全国ネットワークの活用及び連携の確保・強化	134
8 外部資金を活用した事業	137
(1) 環境再生保全機構への協力	137
(2) 環境研究総合推進費委託事業への協力	139
(3) 愛知県環境学習コーディネート業務	139
9 今後に向けて	141

本報告書の集計データ等について

- ※ 本報告書は2025年3月17日までの業務を3月18日時点でとりまとめ、作成した。
- ※ 掲載した令和6（2024）年度の年間合計の集計データ等はすべて、2024年4月1日から2025年3月17日までのデータの集計結果となっている。

業務概要

(ア) 業務の目的

持続可能な社会を構築する上で、国民、民間団体等が行う環境保全活動並びにその促進のための環境保全の意欲の増進及び環境教育が重要であることに加え、これらの取組を効果的に進める上で協働取組が重要となる。

「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」(以下「環境教育等促進法」という。)第19条において、「国は、国民、民間団体等が行う環境保全等を効果的に推進するため、情報提供や助言、交流機会の提供等を行う拠点としての機能を担う体制の整備に努めること」とされており、同法第7条で定める国の方針(以下「促進法基本方針」という。)により、環境省においては、協働取組を構築・促進するための中核的な担い手として「環境パートナーシップオフィス(以下「EPO」という。)」を全国8ブロックに設置(以下「地方EPO」という。)し、中部地方では中部環境パートナーシップオフィス(以下「EPO中部」という。)を開設し事業を実施しているところである。

あわせて、持続可能な社会の創り手を育成するESDの推進のため、文部科学省と環境省が共同で全国ESD活動支援センター(以下「全国センター」という。)と全国8ブロックに地方ESD活動支援センター(以下「地方センター」という。)を設置し、第2期ESD国内実施計画に基づくESDの全国的な展開、支援体制の充実等を図るとともに、気候変動を切り口としたESDの取組も進めているところである。

本業務は、EPO中部が環境教育等促進法の規定する国の役割を果たすため、また中部地方ESD活動支援センター(以下「中部ESDセンター」という。)が国内実施計画等を踏まえた役割を果たすため、地方EPOと地球環境パートナーシッププラザ(以下「GEOC」という。)のネットワーク(以下「EPOネットワーク」という。)を活用するとともに、中部地方の事情を踏まえて各種事業等を企画し、それを実施することにより、市民、NPO/NGO、行政、企業等、社会を構成する様々な主体による協働・連携の取組を広げ、効果的・効率的に環境保全活動、多種多様な環境施策への協力及びESD活動等を活性化させること、また、「第5次環境基本計画」(平成30年4月閣議決定)において提唱された、環境・経済・社会の統合的向上を図る「地域循環共生圏」の考え方及び「地域課題を解決し、地域の魅力と質を向上させる地方創生に資する脱炭素」をキーマッセージとして発信している「地域脱炭素ロードマップ」(令和3年6月国・地方脱炭素実現会議決定)のほか循環基本計画、生物多様性国家戦略等の考えに基づき、各地域が自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合う取組を推進し、持続可能な地域づくりを通じて、環境で地域を元気にしていくとともに、持続可能な社会を構築するための創造に取り組むことを目的とした。

(イ) 期待される役割

第7期(令和6年4月1日から令和9年3月31日まで)EPO中部においては、環境問題の解決、持続可能性に関する様々な課題を統合的に捉える観点から、環境政策の統合、環境政策と他の政策分野とを統合した、統合的アプローチの実践のため以下の考え方にに基づき、市民活動などの、より地域に近い活動での案件づくりを進める。

- ① 脱炭素(CN)、資源循環(CE)、自然再興(NP)の統合的アプローチを実践に移し、地域関係者と対話の機会を創出し、2030年に向けた案件づくり、現場づくりを行う。
- ② 脱炭素先行地域・重点加速化事業、自然共生サイトなど全国的な政策と連動し、助成先や認定申請等を発掘し、優良・先進事例の創生を促進する。
- ③ 自治体、企業等に対しては、CN、CE、NPあるいは、環境調査研究、環境教育、環境管理など様々な角度から働きかけ、多面的な関係の強化・安定化を図る。
- ④ 地域の他の関係者などとの連携、さらに県域、流域等といった広域の協力といった面的拡大の機会創出を図る。

以上を踏まえて、EPO 中部には、主に以下の役割が期待されている。

- i 地域における中間支援機能の強化に資する地域ネットワークの強化
- ii 持続可能な社会の構築に向けた地域活動事業の創出と支援
- iii 地域における活動の普及・促進に資する環境教育（ESD）の促進
- iv 地方環境事務所との連携による施策の推進
- v 地域への情報の発信と連携による情報収集

（ウ） 実施業務

環境教育等促進法の基本方針を踏まえ、様々な主体による協働・連携の取組を通じた環境保全活動等を活性化するため、市民、NPO/NGO、行政、企業、金融機関等との連携を確保しながら、①環境教育等促進法の拠点としての推進、②環境教育・SDGs/ESD の推進、③地域循環共生圏の創造の推進について、各種業務を行った。また、これらの活動状況等について、Web 等を通じて広く発信した。

具体的な事業内容については、（２）の EPO 中部・中部地方 ESD 支援センター運営委員会等において業務実施計画の検討を行った上で、中部地方環境事務所と協議して決定した。また、当該業務実施報告は、EPO 中部のホームページにおいて公表した。

（１） 業務実施計画（案）の作成

- ・第 7 期の EPO 中部及び中部 ESD センターの業務事業計画（案）の作成
- ・業務実施計画（案）の作成（下記（３）以降の各項目を柱として構成し、項目ごとに定量的な達成目標（インプット・アウトプット）を設定）

（２） EPO 中部・中部地方 ESD 支援センター運営委員会の設置・開催

- ・EPO 中部・中部地方 ESD 支援センター運営委員会の設置・開催、運営（２回、各半日程度）
- ・運営委員の選定、委員の委嘱手続、連絡調整、会場及び機器の手配・設営、当日の進行、議事録の作成、旅費及び謝金の支払等、関連の事務手続

（３） EPO 中部・中部 ESD センターの基本業務

ア 情報の収集・蓄積・発信に関する業務

- ① ホームページの更新及び維持管理（月 2 回以上）
 - ・EPO 中部 (<https://www.epo-chubu.jp/>)、中部 ESD センター (<https://chubu.esdcenter.jp/>)
- ② 収集した情報の整理・蓄積・発信（月 1 回以上）
- ③ リーフレットの配布

イ 相談対応・対話の場づくり

- ・各種情報の照会及び相談への対応、各種会合等への積極的な参加、市民、NPO/NGO、行政、企業等多様な主体の交流やマッチングを推進するための場づくり 等

ウ 施設の維持・管理

- ① オフィスの防火・防災管理及び解錠・施錠管理
- ② オフィス内の清掃作業、施設・設備の維持管理
- ③ 必要な機材等の確保、その使用料の支払等の維持管理に必要な事務

（４） 協働取組の促進のための業務

ア 自治体や協働コーディネーターが持つネットワークを活用した環境教育の推進

- ① 中間支援をテーマにしたセミナーの開催（１回、３時間程度、30 名程度）
- ② 協働コーディネーターによる意見交換会の開催（１回、半日程度、30 名程度）

- イ 自治体や協働コーディネーターとの連携による実践的な取組の地域主体との共催によるフォーラムの開催（2回、それぞれ半日程度、30名程度）
- ウ 自治体や協働コーディネーター間の情報・意見交換の促進、活動の地域循環共生圏への貢献についてのフィードバック

- ・有識者（大学教授級、3名程度）ワーキングによる地域循環共生圏づくりの活動評価手法の検討（3回、半日程度）
- ・検討結果のフィードバック、成果冊子の作成

(5) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務（地域循環共生圏の形成支援）

ア 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

① 中間支援機能の担い手育成業務

- ・地域循環共生圏づくりに取り組む地方公共団体、民間団体又は協議会に対する支援
- ・年度当初における打合せ、活動団体へのヒアリング等
- ・フォローシート等の作成・提出（年度当初及び四半期に一度、GEOCへ提出）
- ・ステークホルダーミーティングへの参加

② キックオフミーティング（1回程度、1日）と中間共有会（1回程度、2日程度）の開催

③ GEOC が主催する会議等への参加

- ・中間支援主体対象のキックオフミーティング（オンライン、1回、2日程度）
- ・作業部会（都内、2回程度、各3時間程度）
- ・地方EPO等共有会（オンライン、1回、3時間程度）
- ・地域循環共生圏づくり支援体制構築事業検討会議（オンライン、1回、3時間程度）
- ・成果共有会（都内、1回、2日程度）

④ 卒業団体のフォローアップ調査（卒業団体に対するオンラインヒアリング1件）

イ 地域循環共生圏構築に向けた身近な自然資本の活用に関する意見交換会・ワークショップ等の開催（2回、各半日程度、各30名程度）

ウ 地域からのグリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進業務（4回、各半日程度、各30名程度）

エ 地域循環共生圏創造の担い手（活動団体及び中間支援主体等）や背景情報の把握、地域循環共生圏に関する情報提供

(6) 地方 ESD 活動支援センター業務

ア 自然資本等の活用による ESD 促進（「自然資産を活かした地域・人づくり ESD ダイアログ」の開催、1回、2日、30名程度）

イ 域内外の多様な主体の連携促進、交流の機会の提供

- ① 活動計画の作成（テーマ設定、有識者選定、年間活動計画の作成）
- ② ノウハウの共有と推進に関する方策の検討（全国センター開催「作業部会」に参加）
- ③ 学び合いの実施（「学び合いの場」（2回）、「有識者による検討会」（3回））
- ④ 実践活動（1回、半日程度、30名程度）
- ⑤ 報告（ESD 推進ネットワーク全国フォーラムでの活動結果報告）

ウ ESD に関するネットワークの構築・地域 ESD 拠点への支援

① ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催

- ・ポスター（電子媒体及び紙媒体）の制作、主たるステークホルダーへの送付、参加募集
- ・意見交換、ワークショップ等（1回、半日程度、30名程度）

② 地域 ESD 拠点等の ESD 活動の支援（地域 ESD 拠点等との間で情報共有やイベント協力等の支援、地域 ESD 拠点の登録手続における全国センターへの情報提供等）

エ SDGs 学生サミットの開催（1回、半日程度、オンライン100名程度、会場10名程度）

オ 全国センターとの連携協力推進等

- ・上記イ②の作業部会（2回、各2時間程度）に出席
- ・上記イ⑤ESD 全国フォーラム（1回、1日）に出席
- ・ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会（2回、各1日）に出席
- ・全国協力団体意見交換会（2回、半日程度）に出席
- ・企画運営委員会（2回、2時間程度）に出席
- ・全国センターの求めに応じて情報提供や資料作成・提供等について協力、ESD 推進ネットワークの活動状況調査等への協力・対応

カ ESD 推進のための教育現場等の実態把握と連携強化

- ① 専門家への包括的ヒアリング（オンライン、2時間程度、1回以上、大学教授級1名以上）
- ② 教育部局、教育委員会、現場の教員等を対象としたヒアリング（オンライン、2時間程度、2回程度、2名程度）
- ③ 中小企業等を対象としたヒアリング（オンライン、2時間程度、2回程度、2名程度）

キ ESD/EPO の行事を通じた意識や行動の変容の把握（上記（4）～（6）の代表的行事に参加したコアメンバーへの簡易的ヒアリング、6事例程度）

（7）関係主体との連携及び協働に関する業務

ア 中部地方環境事務所との情報共有及び意見交換

- ① 事務所担当官と定期的な打合せ（月1回以上）
 - ・事業進捗の報告、方向性の協議及び出席した会議等に関する報告、アンケートに基づく行事出席者の反応等の説明
 - ・日々の業務の月次報告の提出
- ② 中部地方環境事務所が開催する会議（外部評価委員会）への対応（1回程度、半日程度）
- ③ 白書を読む会の運営支援（1回、3時間程度、会場50名程度、オンライン100名程度）
- ④ 全国ユース環境活動発表大会（名古屋市内を想定、1回程度、半日程度、1名以上）への参加と情報収集、審査委員選定の協力、大会参加活動団体のホームページ等での情報発信

イ 全国の地方EPO・GEOC・ESD活動支援センター（全国・地方）のネットワークの活用及び連携の確保・強化

- ① 各地方EPOの協働取組に関する検討会議（1回、半日程度）に出席
 - ・全国EPO連絡会への出席（都内2回、各1日/地方1回、2日）、全国EPO連絡会の中部地区開催におけるGEOCへの協力
- ② EPOネットワーク強化等に関するミーティングへの参加（オンライン、1回、2時間程度）

（8）外部資金を活用した事業

（9）成果物の提出

- ・四半期報告書
- ・年間報告書
- ・年間報告書の概要版

(エ) 業務の実施概要 (2025年3月18日時点)

仕様書業務項目		業務内容	実施・開催等の進行状況			
1	業務実施計画の作成	第7期業務実施計画案、達成目標の作成	作成済み →第1回運営委員会に諮問 →ウェブサイト掲載			
2	運営会議	EPO/ESD運営委員会の設置・開催【オンライン、2回】	第1回:5/29開催→議事録公開	第2回:2/12開催→議事録公開		
3	基本業務	3-1 ホームページ(EPO/ESD)の更新・維持管理	月2回以上更新 アクセス数(PV数):EPO:27,216件/ESD:7,793件			
		3-2 収集・整理・蓄積した情報の発信(月1回)	毎月1回以上メルマガ発行			
		3-3 リーフレットの配布	約300部在庫→イベント等ですべて配布	9月に第7期版として改訂のうえ、300部印刷	→2月末までに160部配布(年度内に計・約460部を配布)	
		3-4 照会・相談対応、対話の場づくり	適宜実施	相談対応44事例/照会・相談対応等の延べ件数215件/電話・メール対応150件/講師招聘18件/業務打合せ:136件		
		3-5 施設の維持管理	月次報告書の提出等適宜実施	来館利用件数:66件/来館者数:113人 業務実施日数:計245日		
4	協働取組の促進のための業務	4-1 中間支援をテーマにしたセミナー【1回(3時間)】	1/27に地域循環共生圏づくり支援セミナーを開催(4-4-2:冊子化) ⇒継続してアーカイブ配信			
		4-2 地域主体との共催によるフォーラム【2回(半日)】	協働コーディネーター、ハッピー上市会との打合せ等	12/7に地域循環共生圏フォーラムin上市(第1回)を開催	2/22に地域循環共生圏フォーラムin上市(第2回)を開催	
		4-3 協働コーディネーターによる意見交換会【1回(半日)】	8/28に協働コーディネーター意見交換会を愛知県名古屋市内で実施			
		4-4-1 有識者ワーキングによる活動評価手法の検討【3回(半日)】	第1回ワーキング:6/5実施	第2回ワーキング:9/18実施	第3回ワーキング:11/12実施	
		4-4-2 検討結果のフィードバック、成果まとめ冊子の作成	フィードバック:4-2関係主体へ実施	成果まとめ冊子を4-1セミナー(4-4-1有識者登壇)をもとに作成・公開		
5	地域循環共生圏の創造推進業務	5-1 中間支援機能の担い手育成業務(対象:環境省事業採択団体)	年度当初打合せ:丹南4/26、長野4/23、半田4/25実施	ヒアリングシート:3地域作成、全国事務局提出済み	フォローシート作成・提出:7月、10月、1月、3月に実施	
		5-2 キックオフミーティング【1回】、中間報告会【1回(2日)】	キックオフミーティング:6/26実施	中間報告会:長野県芋井地区で10/23-24実施		
		5-3 GEOC主催会合への参加:キックオフM、作業部会【2回】、共有会、事業検討会議、成果共有会	中間支援ギャザリング(第1回):5/30-31、共有会:5/15に出席	作業部会:①9/4、②1/30、事業検討会議:12/18に出席		中間支援ギャザリング(第2回):2/27-28に出席
		5-4 卒業団体のフォローアップ調査:ヒアリング【1件】	PF尾鷲を対象に12/24オンラインヒアリングを実施	⇒ヒアリングシートを作成、GEOCへ提出		
		5-5 身近な自然資本の活用に関する意見交換会【2回(半日)】	①10/10-12SDGs愛知expoのステージイベント協力、中部事務所出展ブースの運営、②2/9白山シンポジウムを開催運営			
		5-6 グリーン社会実現に向けたSH連携促進業務【4回(半日)】	①11/2Let'sエコアクションinAICHIの中部事務所ブースの運営、②1/15鳥羽エリア創発ミーティングを開催運営、③1/29地域脱炭素セミナーin北陸を開催運営、④3/7中部共進化座談会を実施			
		5-7 地域循環共生圏創造の担い手の情報の把握、関係性構築、関係者情報のまとめ	年間報告書上に情報整理			

仕様書業務項目	業務内容		実施・開催等の進行状況		
6 中部地方 ESD活動 支援センター運営 業務	6-1-1	学び合いP:①活動計画の作成、②ノウハウ共有(作業部会出席【2回】)	①活動計画を作成→有識者検討会で協議して確定	②作業部会:第1回7/25、第2回2/25に出席	
	6-1-2	学び合いP:③-1学び合いの場【2回】、④実践活動、⑤全国フォーラムで報告【1回】	③-1学び合い:第1回8/23、第2回11/7実施	④実践活動:11/11実施	⑤全国フォーラム報告:12/1実施
	6-1-3	学び合いP:③-2有識者検討会【3回】、ワークブック活用普及冊子・動画の作成・公表・配布	有識者検討会:6/5第1回、9/18第2回、11/12第3回を実施	冊子・動画の作成・ウェブサイトで公開	
	6-2	自然資本を活用した地域・人づくりESDダイアログ【1回(2日)】	11/22-23に岐阜県高山市で飛騨エリアの教育関係者が事例・取組発表等を行う会合を実施		
	6-3	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回(半日)】、ポスター作成	9/19にハイブリッド方式(会場:愛知県名古屋市の地域ESD拠点登録団体の会合として実施)ポスター・開催案内チラシを作成して地域ESD拠点登録団体へ提供		
	6-4	地域ESD拠点等の活動支援	適宜実施		
	6-5	SDGs学生サミット【1回(半日)】	SDGs活動に取り組む4大学・1高校の学生チーム、自治体・企業・NPOの計3団体が登壇する会合を2/1開催		
	6-6	全国センター会議への出席・連携協力:連絡会【2回】、協力団体意見交換会【2回】、企画運営委員会【2回】、活動状況調査等への協力	連絡会:6/27第1回、1/17第2回に出席	意見交換会:7/24第1回、12/1第2回(兼全国フォーラム)に出席	企画運営委員会:6/27第1回、2/28第2回に出席
	6-7	教育現場の実態把握と連携強化:専門家【1回(2時間)】/教育関係者【2回(各2時間)】/中小企業経営者【2回(各2時間)】	専門家:白梅学園大学・朝岡先生に1/25ヒアリング実施	教育関係者:①小学校1/30、②高校2/22ヒアリング実施	中小企業:2事業者へ2/20ヒアリング実施
6-8	行動変容の把握:行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	①②地域循環共生圏フォーラムin上市、③ESDダイアログ、④学び合い、⑤実践活動、⑥鳥羽創発ミーティングの関係者にヒアリング実施⇒ヒアリング結果を年間報告書へ整理			
7 関係主体との連携及び協働に関する業務	7-1	事務所担当官との定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	月1回以上の定例打合せ実施 計25回の打合せを実施		
	7-2	事務所開催会議の資料作成・説明:外部評価委員会含む【1回(半日)】	外部評価委員会3/4出席	自己評価シート、業務報告書の作成	
	7-3	白書を読む会の企画、会場運営支援【1回(3時間)】	9/25開催・白書を読む会を企画・広報展開・運営を実施		
	7-4	全国ユース中部大会に参加【1回(半日)】、審査委員の選定、活動団体情報のWEB掲載	中部大会参加:12/22	審査委員の選定:長野県NPOセンター阿部氏を推薦	全国大会、中部大会の結果のシェア記事をwebに掲載
	7-5-1	GEOC主催会議に出席:検討会議【1回】、全国EPO連絡会【3回、うち1回中部開催】、ネットワーク強化ミーティング【1回】	9/20検討会議に出席	全国連絡会:6/12-13第1回、10/1-3第2回、1/16-17第3回に出席	12/20EPOネットワーク勉強会に出席
	7-5-2	全国EPO連絡会の中部開催【1回(2日)】	エクスカーション:地域協力者と調整打合せ6/7、7/4、7/26に実施	全国事務局との打合せ:7/19、8/27に実施	全国EPO連絡会(第2回)のうち10/2-3エクスカーションを運営
8	業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務	適宜実施			
10	外部資金を活用した事業:地球環境基金/愛知県環境学習コーディネイト業務	地球環境基金説明会:10/18実施	環境研究総合推進費委託への協力:小布施7/30-31、尾鷲8/8-9実施	相談6件、コーディネート10件実施	
	成果物の提出:第1~3四半期報告書、第6期概要報告書、年間報告書(及び概要版)	四半期報告書:①7/19、②10/18、③1/24にそれぞれ納品	年間報告書:3/31納品		

1 業務実施計画の作成

(ア) 作成した第7期業務の事業計画

1. 第7期達成目標

2030年を見据え中部地方のローカルSDGs達成に向け
地域循環共生圏に資する地域環境活動の面的拡大を加速化させます。

2. 方針

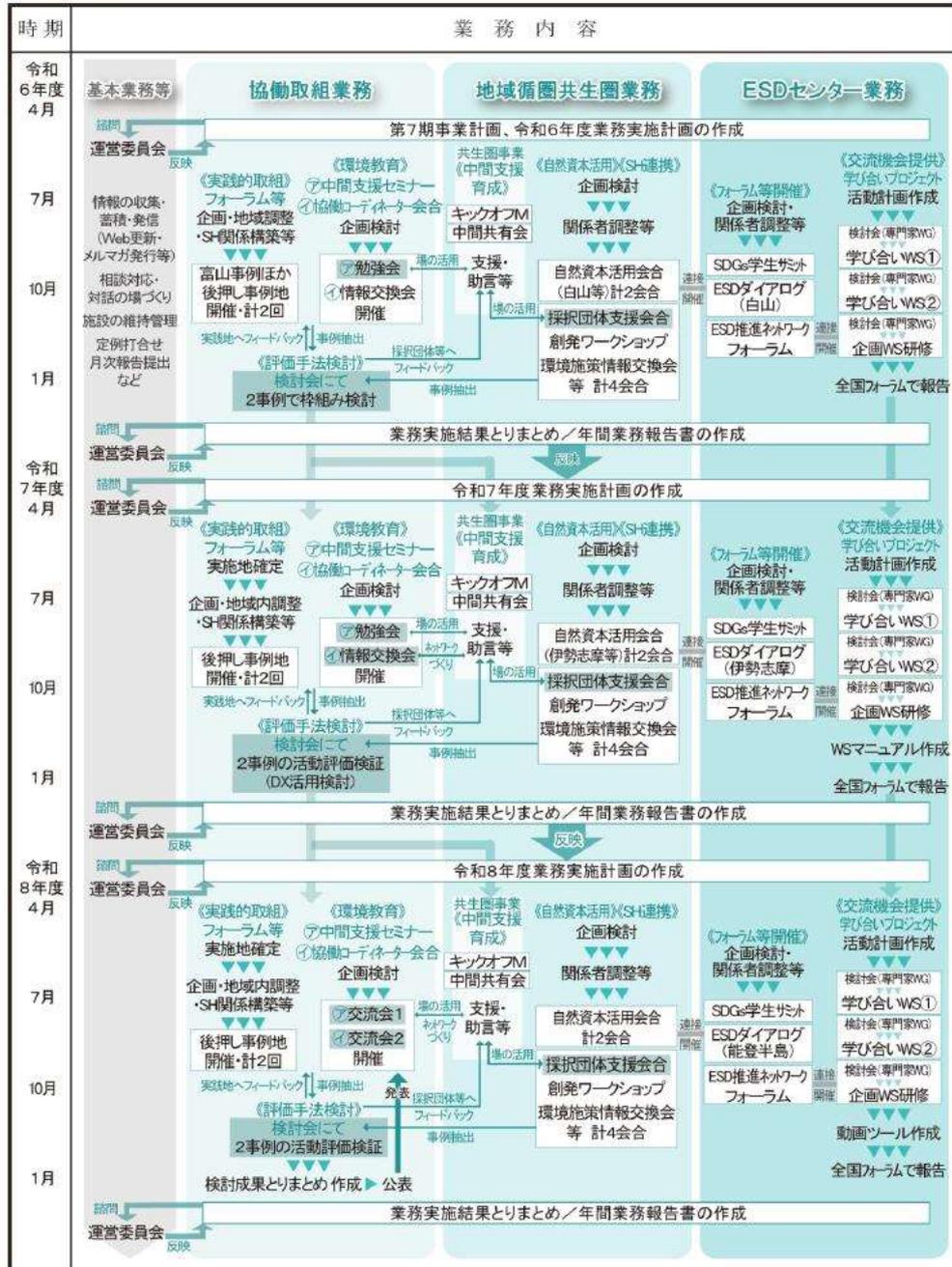
- 「地域ネットワークに対するEPO中部/中部ESDセンターのメタネットワーク化による重層化、効率化、強靱化」により地域の取組の協働の相互作用を促進します。
- 「活動見える化プログラムやSDGs指標物語などを活用した地域の取組の定量的、定性的評価と適切なフィードバック」によりローカルSDGsの進捗を可視化します。
- 「WebやSNS発信、オンライン会合、GIS(地理情報システム)、AI(チャットGPTなど)等のDXの積極的活用」により業務の時間的、空間的、社会的効率化を図ります。

3. 各年度(2024年度~2026年度)の目標、方針、関連事業

令和6年度	目標	既存のネットワークを活かし地域のニーズに対応した事例モデルを作成するとともに取組の組織や事例などの優良資産を発掘、把握、整理します。
	方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動、ESDニーズの掘り起こしと既存ツールを活用したモデル事例の運営(関連事業:①) ● 評価ツールの整理統合と活用(関連事業:②) ● 取組の掘り起こしと整理(関連事業:③) ● EPO中部/中部ESDCメタネットワークの計画(関連事業:④)
令和7年度	主な関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 全事業、特に協働取組の促進のための業務、地域循環共生圏の創造に資するための推進業務(地域循環共生圏の形成支援)、中部ESDセンター運営業務 ② 自治体や協働コーディネーター間の情報・意見交換の促進、活動の地域循環共生圏への貢献についてのフィードバック ③ 自治体や協働コーディネーターが持つネットワークを活用した環境教育の推進、自治体や協働コーディネーターとの連携による実践的な取組み、地域循環共生圏の創造に資するための推進業務(地域循環共生圏の形成支援)、中部ESDセンター運営業務 ④ 全事業、特に協働取組の促進のための業務、地域循環共生圏の創造に資するための推進業務(地域循環共生圏の形成支援)、中部ESDセンター運営業務
	目標	地域ニーズを踏まえ統合アプローチ(CN・CE・NP)による3分野(環境・社会・経済)貢献取組に向けた地方ネットワークの強化を行います。
令和7年度	方針	<ul style="list-style-type: none"> ● モデル事例の強化と評価ツールの活用(関連事業:⑤) ● GIS等DXによるネットワーク可視化ツールの検討(関連事業:⑥) ● EPO中部/中部ESDCメタネットワークの構築検討(関連事業:⑦)
	主な関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 全事業、特に協働取組の促進のための業務、地域循環共生圏の創造に資するための推進業務(地域循環共生圏の形成支援)、中部ESDセンター運営業務 ⑥ 自治体や協働コーディネーター間の情報・意見交換の促進、活動の地域循環共生圏への貢献についてのフィードバック ⑦ 全事業、特に協働取組の促進のための業務、地域循環共生圏の創造に資するための推進業務(地域循環共生圏の形成支援)、中部ESDセンター運営業務

令和8年度	目標	各地方の地域活動ネットワークを重層的につなぐメタネットワークを強化し、取組の面的拡大を図ります。
	方針	<ul style="list-style-type: none"> ● モデル事例の強化と評価ツールの活用(関連事業：⑧) ● GIS等DXによるネットワーク可視化ツールの活用(関連事業：⑨) ● EPO 中部/中部 ESDC メタネットワークの活用(関連事業：⑩)
	主な関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 全事業、特に協働取組の促進のための業務、地域循環共生圏の創造に資するための推進業務(地域循環共生圏の形成支援)、中部ESDセンター運營業務 ⑨ 自治体や協働コーディネーター間の情報・意見交換の促進、活動の地域循環共生圏への貢献についてのフィードバック ⑩ 全事業、特に協働取組の促進のための業務、地域循環共生圏の創造に資するための推進業務(地域循環共生圏の形成支援)、中部ESDセンター運營業務

4. 業務フロー



5. 主な業務の3か年実施展開案

5.1. 協働取組の促進のための業務

自治体や協働コーディネーターによるネットワークを活用した環境教育の推進

■ 地域循環共生圏づくりの中間支援をテーマにしたセミナーの開催

【基本方針】

- 地域循環共生圏づくりの支援を担う中間支援主体／機能の育成とネットワーク構築の支援
- 地域循環共生圏づくり／ローカル SDGs の中間支援事例の掘り起し（ウ：評価手法を用いたフィードバックの対象事例とする）

【実施内容】

- 地域循環共生圏づくりにおける中間支援機能に焦点をあてた勉強会等を実施します。
- 主な参加者として、地域循環共生圏や中間支援機能に関心のある自治体をはじめとする産官学の多様な主体が想定されます。加えて、協働コーディネーターや地域循環共生圏事業の採択団体（及び卒業団体等）にも登壇・参加してもらい、中部の中間支援主体の交流の場を創出します。
- 第7期最終年度の令和8年度は、企業・金融機関等も交えた交流会を開催し、共生圏事業採択団体や協働コーディネーターにローカル SDGs 事業をプレゼンいただく企画を盛り込みます。

■ 協働コーディネーター等による情報交換会の開催

【基本方針】

- 地域の協働取組における協働コーディネーターによる事例の相互参照と、EPO による活動現場の課題・ニーズの把握
- 地域循環共生圏づくり（またはその中間支援）への協働コーディネーターの実践意欲の喚起

【実施内容】

- EPO が地域活動の実現場の情報を収集し、また、地域の現場へ環境省施策を届けるアンテナ役として位置づけられている協働コーディネーターの会合を実施し、環境省施策や地域活動の事例や課題を相互参照し合う情報交換会を実施します。
- 令和7年度は地域循環共生圏事業の採択中間支援主体も交えた意見交換を実施し、活動者同士で率直な悩みの共有と、相互に刺激し合う場づくりを行います。

自治体や協働コーディネーターとの連携による実践的な取組

（特定地域の事例を題材にしたフォーラム等の開催と取組の可視化・成果の整理）

【基本方針】

- 自治体や協働コーディネーター等が取り組むローカル SDGs の実践事例で、地域循環共生圏づくりの事例として打ち出されていないが今後を期待できる取組／地域／主体への後押しを目的に、EPO 中部と地域主体が共催するフォーラム等（特定の地域・活動を題材にしたフォーラム等）を実施します。
- フォーラム等の開催により、改めて地域へ取組をPRする機会をつくと共に、事例・取組の地域への貢献性を見える化し、ステークホルダーとの関係の再構築や、主体自身の課題や成果に対する認識整理の機会をつくります（次項ウ：評価手法を用いたフィードバックの対象事例とする）。

【実施内容】

- フォーラム等の開催にあたっては、開催に至るまでのプロセスで必要となる「地域内への働きかけ」を重視し、企画段階では共催主体となる自治体や協働コーディネーター等が EPO 中部と協働で、地域内調整やプログラム立案を行います。

- 具体的には、関係する行政・事業者等との事前調整、地域状況（ニーズや課題等）の関係者間での把握・共有と、地域状況に適したプログラム検討などを、地域主体（共催主体）が中心になって EPO と協働で実施します。また、共催主体からステークホルダーへ、フォーラム参加を呼びかけるプロセスを通して、フォーラムのテーマを多様な主体と共有しつつ関係構築を行う支援を EPO 中部が行います。

自治体や協働コーディネーター間の情報・意見交換の促進、活動の地域循環共生圏への貢献についてのフィードバック

【基本方針】

- 統合的アプローチによる環境活動の面的拡大のためには、地域の協働取組の促進とそれによる地域循環共生圏への貢献について推進力を維持することが必要で、取組の進捗を把握するとともに当事者が立ち位置を認識してモチベーションを維持することが重要です。そのためには地域づくり・人づくりの取組に対して地域循環共生圏への貢献の評価手法を構築し、自治体や協働コーディネーター間の情報・意見交換の場でフィードバックし取組を促進することが有用と考えられます。
- EPO 中部では第 6 期までの成果として、協働取組と環境・社会・経済への貢献の状況をその時点で表す「活動見える化プログラム」と、選択した指標が SDGs の達成においてどのような貢献を表しているのかを言語化、可視化する「SDGs 指標物語」を実用化してきました。これらも活用し以下の方針のもとに事業を進めます。

【実施内容】

○取組と協働の評価手法を整理検討し情報 意見交換の場へのフィードバックの枠組みを構築します

- SDGs 指標物語によって意義付けられた成果指標による定量的評価の検討
- 活動見える化プログラムによって可視化された協働と貢献の定性的評価の検討
- 地域環境活動の重層的ネットワークの可視化による中部地方の俯瞰的協働連携状況の評価の検討
- 自治体や協働コーディネーター間の情報、意見交換の場への検討結果のフィードバック

○ODX を活用した評価と可視化により情報交流とフィードバックの効率化を図ります

- 生成 AI（チャット GPT）を活用した「SDGs 指標物語」の作成支援方法の構築検討
- 活動見える化プログラムチャートの作成支援デジタルツールの検討
- 活動主体の情報プラットフォームの形成と GIS 協働ネットワークの可視化ツールの検討

○専門家ワーキンググループによる評価手法の検討を行い学術的知見を導入します

- 専門家ワーキンググループを組織し検討会（年 3 回程度）で議論しながら検討を重ねることにより科学的根拠を担保しつつ評価手法の構築と活用を行います。基幹メンバーは地域づくり・人づくりに造詣の深い以下を想定し、必要に応じて「評価」、及び「GIS」、「AI」の専門家を加えることとします。成果として冊子「(仮称)協働取組を評価し、見える化！」の作成を想定します。

5.2. 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

地域循環共生圏構築に向けた身近な自然資本の活用に関する意見交換会の開催

- 自然資本のワイズユースをテーマとした意見交換会を開催し、自然再興（NP）、生物多様性保全の取組に関心のある企業やNPO等活動団体で情報交換を行います。

【基本方針】

- 自然資源を活用した地域循環共生圏の事例づくりと、自然共生サイトにおける企業とNPO等との連携創出を目指します。

【実施内容】

■ 国立公園エリアにおける自然資本のワイズユースによる地域循環共生圏づくり会合

- 過去の本業務による会合実施地域を含め、中部の国立公園関連地域でステークホルダーが集まり、自然資本を活用したローカルSDGs事業の創発や具体化を目的とした会合を実施します。

■ 自然共生サイトなど具体の活動地等でのステークホルダー連携会合

- 自然共生サイトや、地域循環共生圏事業採択団体が自然資本活用に取り組む活動地域など、具体の活動地で企業や自治体、NPO等のステークホルダーの連携を目的とした会合を実施します。

地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進業務

- 地域循環共生圏づくりを目指す地域で、多様な主体が交流する対話の場として、意見交換会等を実施します。
- 企画にあたっては、環境省をはじめ関係省庁や経済団体、自治体、金融機関など、できるだけ多様な関係主体の巻き込みを図り、分野を超えた関係構築も重視します。

【基本方針】

- 地域内の多様なステークホルダーによる地域要素（ヒト、モノ、カネ、情報）の共有から始まる地域循環共生圏づくりの事例づくりと支援事例の蓄積を目指します。
- 実施地域の中で地域課題を解決するローカルSDGs事業の創発（地域循環共生圏ドミノ）の素地づくりを目指します。

【実施内容】

※①②③で各年度計4回の会合実施を想定。

■ 地域循環共生圏事業の採択団体の支援につながる会合の実施

- ステークホルダーの巻き込みが進んでいない採択団体の活動エリアで会合を実施し、本業務の会合をきっかけにした関係構築を目指します。また、地域課題やステークホルダーの捉え方に偏りがみられる採択団体が参加する会合を実施し、気づきを得ていただく企画を盛り込みます。

■ 地域の中に「創発」を生むことを目的としたワークショップの実施

- これから地域循環共生圏づくりに取り組む地域や、相談対応等を通じて協働やローカルSDGs実践に悩みをもつ地域でワークショップを実施し、地域課題・地域資源をはじめとする地域要素の抽出や、それらをつないで新たな取組や協働の創出を目指します。

■ 環境施策をテーマにした関係機関・企業・金融機関による情報交換の実施

- 環境施策をテーマとして、特に脱炭素（CN）、資源循環（CE）に関わる最新動向等を関係機関・企業・金融機関等で情報共有／情報提供する場を設営します。（※自然再興（NP）は前項イでの取り扱い分野として整理。）

5.3. 中部 ESD センター業務

自然資本の活用による ESD 促進

【基本方針】

- ユネスコジオパーク、ユネスコエコパーク、世界遺産、世界農業遺産等に象徴される自然資本は ESD のフィールドとして重要な役割を果たすことができます。第 5 期、第 6 期を通じて中部 ESD センターではユネスコエコパーク、ユネスコジオパークをフィールドとして国立公園など**自然公園と連携しつつ現地体験を含む ESD ダイアログでの対話**を続けており、自然を基盤とした地域の資産の役割について関係者の認識を深め理解を共有してきました。第 7 期ではそれを基盤とし、世界遺産、世界農業遺産、さらには 30by30 達成のために取組が加速している「自然共生サイト」などとも連携した**自然資本 ESD フィールドネットワークの形成**を目指します。
- 一方、自然資本フィールドにおける ESD の実践主体は各地域のボランティアガイドや地域のユネスコスクールなどの学習活動が担っていますが、「自然体験」が情操教育で重要な役割を果たす時期にある子どもからユースの世代に自然資本を活かすには**一般の学校教育機関が連携**することが必要です。また自然資本と関わる農業、林業、水産業、観光業など、実社会での取組を担う人材養成を担う**商工農林高校など職業教育機関との連携**は、現地での ESD の展開とともに、将来的な自然環境保全取組の人材を確保していく上でも重要です。そこで第 7 期では ESD ダイアログの企画運営において、これらの専門教育機関との連携を進めます。

域内外の多様な主体の連携促進、交流の機会の提供

■基本方針

- 「学びあいプロジェクト」について中部 ESD センターでは第 5 期から社会人に対する ESD をテーマとし、第 6 期は加えて気候変動を切り口として実践と検討を続け来ており、その成果として「**現場から学ぶ！ESD 学び合いの場づくりワークブック**」（ESD ワークブック）が上梓され、環境学習の研修会での試用では好評を博しています。気候変動問題を軸とした学び合いの機会を拡大し、社会への ESD の実装を促進するには、これらの成果を活用することが有用と考えられます。そこで ESD ワークブックを活用し、学び合いの場づくりを担う、様々な主体の学習、講座、研修会等の企画担当者に、**学び合いの場を企画するワークショップ**を実施します。また**地域 ESD 拠点に対しては中間支援強化**のため、担当者にはこのようなワークショップを開催できるように研修会を実施するとともに地域 ESD 拠点が実施するワークショップの開催を支援します。

SDGs 学生サミットの開催

【基本方針】

- 第 2 期 ESD 国内実施計画の 5 つの優先分野で「ユースのエンパワーメントと参加の奨励」があげられているように高校生、大学生、若者のユース世代のコミュニティづくり、交流・実践活動の促進、等により ESD を推進することとしています。中部 ESD センターでは第 5 期から第 6 期においてオンラインの「学生サミット」の開催により、**大学生が SDGs の取組を発表し SDGs 未来都市の担当者と交流議論する ESD の学び合いの場**を設営してきました。
- こうした実績を踏襲するとともにこれを強化拡大するために、大学生のみならず高校生や大学卒業生、社会人なども含めて多世代にわたる交流の場に発展させます。また多数のグループが発表できるように**発表数分のブレイクアウトルームによるポスターセッションの場**など短時間で多数の発表ができる場を検討します。さらに**高校生の取組の発表枠を設けるとともに**、学びと実践を社会と接することにより SDGs の取組が地域社会と連携するよう、ユース・学生と社会人の組み合わせによる発表団体の募集枠を新設します。

【実施内容】

○学生サミットの開催

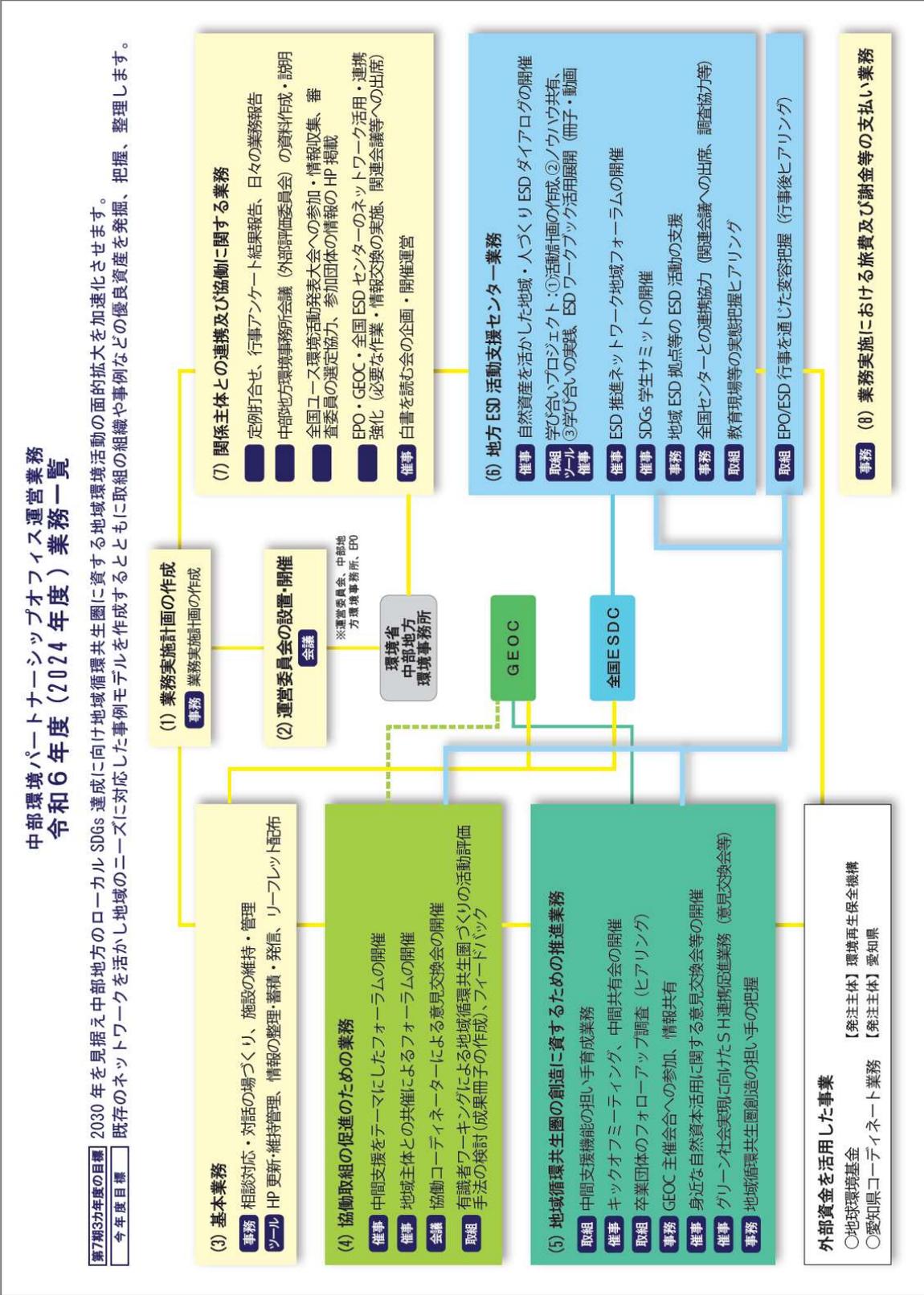
- 移動のハードルを下げるため開催は完全オンラインとします。
- 社会側の SDGs の取組事例を共有するために、SDGs 未来都市担当者に加え、企業の SDGs 取組の話題提供を行うこととします。
- 募集枠は高校生、大学生、学生・社会人協働の3つとし、中部地方を主な対象としますが、域外からの参加も可とします。
- SDGs 取組の発表方法は口頭発表とポスター発表の2つから選んでもらいます。ポスター発表はブレイクアウトルームの活用を検討します。
- 発表団体に対しては事前会合を開催し発表方法について理解してもらうとともに SDGs 取組の可視化に協力を依頼します。
- 関係者や副指導教官など、発表には参加しないものの個人で議論に参加できる枠を設けます。
- ディスカッションでは3つのグループに分け、専門のファシリテーターを配置します。
- 参加のモチベーションを確保することも視野に発表方法別のコンテストを行います。審査は参加者、事務局の他 SDGs 未来都市担当者、企業担当者にも講評に参加してもらい、社会の SDGs ニーズを反映させます。

○SDGs 取組の可視化

- 話題提供の SDGs の取組についてはその内容を「活動見える化プログラム」で可視化します。
- 発表の取組実績はその位置関係を GIS で表現し、可視化を検討することで理解の共有化を促進を図ります。

(イ) 作成した令和6年度業務実施計画

①業務概要



②業務スケジュール (2024年5月の立案時点案)

業務内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	業務実施計画の第7期業務実施計画案、達成目標の作成	担当 原、富田	作成	運営委員会への提示	修正	公開							
2	運営会議	担当 清水、原、富田、小松	委員選定 資料作成 開催準備 調整	運営委員会1開催	開催結果とりまとめ	公開						運営委員会2開催	開催結果とりまとめ→公開
3	基本業務	担当 富田	イベント等で配布										
3-1	ホームページ(EPO/ESD)の更新・維持管理	担当 富田、小松	2月2回以上の更新を適宜実施										
3-2	収集・整理・蓄積した情報の発信(月1回)	担当 小松	月1回以上のメルマガ配信を適宜実施										
3-3	リーフレットの配布	担当 富田											
3-4	展示・相談対応、対話の場づくり	担当 清水、原、富田、小松	適宜実施し、記録及び報告										
3-5	施設の維持管理	担当 富田、小松	日常的に適宜実施										
4	協働取組の促進のための業務	担当 清水、富田	関係者調整、企画立案	各連携主体にヒアリング ↓ 企画案等を作成	関係地域・団体との調整、企画準備・広報								
4-1	中間支援をテーマにしたセミナー【1回(3時間)】	担当 清水、富田											
4-2	地域主体との共催によるフォーラム【2回(半日)】	担当 清水、富田											
4-3	協働コーディネーターによる意見交換会【1回(半日)】	担当 清水、富田											
4-4-1	有識者ワーキングGによる活動評価手法の検討【3回(半日)】	担当 清水、原											
4-4-2	検討結果のフィードバック、成果まとめ冊子の作成	担当 原											
5	中間支援機関の短い手育成業務(対象:環境・省事業体(協働団体))	担当 富田	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案
5-1	中間支援機関の短い手育成業務(対象:環境・省事業体(協働団体))	担当 富田	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案
5-2	中間支援機関の短い手育成業務(対象:環境・省事業体(協働団体))	担当 清水、富田	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案
5-3	中間支援機関の短い手育成業務(対象:環境・省事業体(協働団体))	担当 富田	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案
5-4	中間支援機関の短い手育成業務(対象:環境・省事業体(協働団体))	担当 富田	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案
5-5	中間支援機関の短い手育成業務(対象:環境・省事業体(協働団体))	担当 清水、富田	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案
5-6	中間支援機関の短い手育成業務(対象:環境・省事業体(協働団体))	担当 清水、富田	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案	関係者調整、企画立案

③定量的な達成目標（インプット・アウトプット）の設定

EPO 中 各 6 年 度 事 業 ア ウ ト プ ッ ト 目 標 等 一 覧		インプット仕組		アウトプット仕組		アウトカム		備考
仕組	業務内容(イベント/オンライン活用/併用)	担当	外部関係者との役割	進捗/情報発信	コンテツト等/情報の発	参加者(数)/対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット/アウトカム(予想される成果))	
1	業務推進計画の作成	栗本、高田、須、富田	・外部関係者へ必要に応じて助言	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	
2	運営会議	栗本、高田、須、富田、小松	・外部関係者へ必要に応じて助言	・EPO推進委員会の設置(隔週1回) ・EPO推進委員会の開催(隔週1回)	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	
3	基本業務	栗本、高田、須、富田、小松	・外部関係者へ必要に応じて助言	・EPO推進委員会の設置(隔週1回) ・EPO推進委員会の開催(隔週1回)	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	
4	協議の進捗	栗本、高田、須、富田、小松	・外部関係者へ必要に応じて助言	・EPO推進委員会の設置(隔週1回) ・EPO推進委員会の開催(隔週1回)	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	
5	協議の進捗	栗本、高田、須、富田、小松	・外部関係者へ必要に応じて助言	・EPO推進委員会の設置(隔週1回) ・EPO推進委員会の開催(隔週1回)	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	
6	協議の進捗	栗本、高田、須、富田、小松	・外部関係者へ必要に応じて助言	・EPO推進委員会の設置(隔週1回) ・EPO推進委員会の開催(隔週1回)	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	
7	協議の進捗	栗本、高田、須、富田、小松	・外部関係者へ必要に応じて助言	・EPO推進委員会の設置(隔週1回) ・EPO推進委員会の開催(隔週1回)	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	
8	協議の進捗	栗本、高田、須、富田、小松	・外部関係者へ必要に応じて助言	・EPO推進委員会の設置(隔週1回) ・EPO推進委員会の開催(隔週1回)	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	
9	協議の進捗	栗本、高田、須、富田、小松	・外部関係者へ必要に応じて助言	・EPO推進委員会の設置(隔週1回) ・EPO推進委員会の開催(隔週1回)	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	
10	協議の進捗	栗本、高田、須、富田、小松	・外部関係者へ必要に応じて助言	・EPO推進委員会の設置(隔週1回) ・EPO推進委員会の開催(隔週1回)	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成 ・各期推進計画の作成	・第7期推進計画の作成 ・第8期推進計画の作成 ・第9期推進計画の作成 ・第10期推進計画の作成	

(ウ) 業務実施計画の公表

- 作成した第7期業務の事業計画と、令和6年度業務実施計画は、EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会（第1回会議）に諮ったうえで、EPO中部ウェブサイトに掲載、公開した。
- 中部地方ESD活動支援センターウェブサイトについても、EPO中部ウェブサイトへの直リンク見出し記事を掲載した。

【EPO中部ウェブサイト】

第7期のEPO中部及び中部地方ESD活動支援センターの目標と方針

EPO中部及び中部地方ESD活動支援センターの第7期3年間（2024年度～2026年度）の達成目標と実施方針をご紹介します。

第7期の達成目標

2030年を見据え中部地方のローカルSDGs達成に向け、地域循環共生圏に資する地域環境活動の面的拡大を加速化させます。

第7期の方針

- 「地域ネットワークに対するEPO中部/中部ESDセンターのメタネットワーク化による重層化、効率化、強靱化」により地域の取組の協働の相互作用を促進します。
- 「活動見える化プログラムやSDGs指標物語などを活用した地域の取組の定量的、定性的評価と適切なフィードバック」によりローカルSDGsの進捗を可視化します。
- 「WebやSNS発信、オンライン会合、GIS（地理情報システム）、AI（チャットGPTなど）等のDXの積極的活用」により業務の時間的、空間的、社会的効率化を図ります。

各期事業計画と各年度の業務実施計画

今期・第7期（2024～2026年度）の計画

2024年度（令和6年度）業務実施計画

▶PDFファイルで閲覧

第7期3カ年度の事業計画

▶PDFファイルで閲覧

【中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイト】

センター概要



2024.06.30 ESD/EPO運営委員会

2024年度第1回EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会を開催

2024年度第1回目の中部・中部地方ESD活動支援センターを5月29日に開催し、その議事概要を公開しています。



2024.06.16 お知らせ

中部地方ESD活動支援センターの2024年度業務実施計画

2024年度（令和6年度）の当センター及びEPO中部の業務実施計画を掲載しました。

（※EPO中部ウェブサイトへリンク）

2 EPO 中部・中部 ESD 支援センター運営委員会の設置・開催

(ア) 運営委員について

- 令和6年度の「EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センター運営委員会」を設置・開催するにあたり、次表の8名の委員に就任を依頼し、委嘱手続き等を行った。

【委員名簿】委員：計8名

No.	分野等	地域	氏名	所属先・役職等
1	学識者／ESD	東海	伊藤 恭彦	名古屋市立大学 副学長
2	学識者／学校教育	北陸	加藤 隆弘	金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授
3	学識者／地域整備計画	東海	加藤 義人	岐阜大学 客員教授、名古屋都市センター 特任アドバイザー
4	協働コーディネーター	北陸	堺 勇人	一般社団法人環境市民プラットフォームとやま 常務理事／事務局長
5	NPO／地域づくり	東海	田辺 友也	認定NPO法人まちづくりスポット 専務理事／事務局長
6	自治体	東海	濱田 一多朗	尾鷲市商工観光課 課長
7	企業／環境学習	北陸	水上 聡子	アルマス・バイオコスモス研究所 代表
8	学識者／自然生態系	信州	水谷 瑞希	信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設 准教授

(イ) 第1回会議

①日時

- 2024年5月29日（水）13：00～16：00

②開催方法

- オンライン会議（Webex ミーティング）

③出席者

- 運営委員：6名

伊藤 恭彦	名古屋市立大学 副学長
堺 勇人	一般社団法人環境市民プラットフォームとやま 常務理事／事務局長
田辺 友也	認定NPO法人まちづくりスポット 専務理事／事務局長
濱田 一多朗	尾鷲市商工観光課 課長
水上 聡子	アルマス・バイオコスモス研究所 代表
水谷 瑞希	信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設 准教授

※ 加藤隆弘委員（金沢大学大学院教職実践研究科准教授）、加藤義人委員（岐阜大学客員教授、名古屋都市センター特任アドバイザー）が所用によりご欠席

- 環境省中部地方環境事務所環境対策課：縄野課長補佐
- 事務局（EPO 中部）：福井理事長、清本、原、富田、小松

④議事次第

1. ご挨拶 環境省中部地方環境事務所
2. 本委員会の設置要領について

3. 第7期事業計画、令和6(2024)年度の業務実施計画について
4. EPO業務について
 - (1) EPO業務事務局案の説明
 - (2) 意見交換
5. ESD業務について
 - (1) ESD業務事務局案の説明
 - (2) 意見交換
6. その他/第2回委員会の日程調整等
7. 閉会

⑤会議資料

- 資料1：EPO中部・中部ESD支援センター運営委員会 設置要領
- 資料2-1：EPO中部運營業務 第7期事業計画
- 資料2-2：EPO中部運營業務 令和6(2024)年度の業務実施計画
- 資料3：EPO業務事務局案説明資料
- 資料4：ESD業務事務局説明資料



(ウ) 第2回会議

①日時

- 2025年2月12日(水) 13:00~16:00

②開催方法

- オンライン会議 (Webex ミーティング)

③出席者

- 運営委員：8名

伊藤 恭彦	名古屋市立大学 副学長
加藤 隆弘	金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授
加藤 義人	岐阜大学 客員教授 / 名古屋都市センター 特任アドバイザー
堺 勇人	一般社団法人環境市民プラットフォームとやま 常務理事/事務局長
田辺 友也	認定NPO法人まちづくりスポット 専務理事/事務局長
濱田一多朗	尾鷲市商工観光課 課長

水上 聡子	アルマス・バイオコスモス研究所 代表
水谷 瑞希	信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設 准教授

- 環境省中部地方環境事務所環境対策課：縄野課長補佐
- 事務局（EPO 中部）：福井理事長、清本、原、富田、小松

④議事次第

<ol style="list-style-type: none"> 1. ご挨拶 環境省中部地方環境事務所 2. EPO 業務について <ol style="list-style-type: none"> (1) EPO 業務の実施状況の説明 (2) 意見交換 3. ESD 業務について <ol style="list-style-type: none"> (1) ESD 業務の実施状況の説明 (2) 意見交換 4. その他 5. 閉会
--

⑤会議資料

<p>資料 1：令和 6（2024）年度の EPO 業務実施報告資料</p> <p>資料 2：令和 6（2024）年度の ESD 業務実施報告資料</p> <p>参考資料：地域脱炭素に資する ESD 推進事業の拡充について</p>



(エ) 会議実施結果（議事概要）の公開

- 第 1 回、第 2 回運営委員会の終了後に、会議の議事概要を作成し、各委員に確認した上で、「第 7 期 EPO 中部・中部 ESD 支援センター運営委員会 設置要領」とともに、EPO 中部ウェブサイト上で公開した。
- 中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイトにも EPO 中部ウェブサイトの該当ページへの直リンク見出しを掲載した。

【EPO 中部ウェブサイト】

EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会

運営委員会の設置

EPO中部は、多様なステークホルダー及び有識者で構成される運営委員会を年2回開催し、EPO・ESD業務についての検討、協議、評価を行っています。

また、運営委員が提案する協働取組や、各地域で実施すべき協働取組を、EPO中部の機能を使って実施するスキームとなっています。

※第5期（2020年度）までは「EPO中部運営会議」「中部地方ESD活動支援センター企画運営会議」をそれぞれ設置していました。

EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員（氏名五十音順、敬称略）

- 伊藤 恭彦（名古屋市立大学 副学長）【委員長】
- 加藤 隆弘（金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授）
- 加藤 義人（岐阜大学 客員教授，名古屋都市センター 特任アドバイザー）
- 堺 勇人（一般社団法人環境市民プラットフォームとやま 常務理事／事務局長）
- 田辺 友也（認定NPO法人まちづくりスポット 専務理事／事務局長）
- 濱田 一多朗（尾鷲市商工観光課 課長）
- 水上 聡子（アルマス・バイオコスモス研究所 代表）
- 水谷 瑞希（信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設 准教授）

設置要領

 [第7期 EPO中部・中部ESD支援センター運営委員会 設置要領](#)

第6期（2023年度／令和5年度）以前の設置要領等

議事録

第7期

【2024（令和6）年度】

 [2024年度（令和6年度）第2回EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会 議事録](#)

 [2024年度（令和6年度）第1回EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会 議事録](#)

第6期以前に実施した会議の議事録

3 EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センターの基本業務

(1) 情報の収集・蓄積・発信に関する業務

ア ホームページの更新及び維持管理

(ア) 更新・維持管理状況

- EPO 中部では、環境保全、協働の推進、ESD、SDGs 等に関わる情報を収集・整理・蓄積し、行政機関の動き、公募・助成金情報、イベント情報等の発信を行っている。
- 収集した情報は、EPO 中部及び中部地方 ESD 活動支援センターの各ウェブサイトにおいて、下表の通り、記事の投稿・掲載・更新を行った。

【EPO 中部 (<http://www.epo-chubu.jp>) 更新実施表】

月	更新回数・計	更新コンテンツ						
		EPO 中部のお知らせ	皆さんのお知らせ	スタッフのあれこれ	EPO 中部とは	EPO 中部がお手伝い	お役立ちツール	その他(メルマガ掲載等)
4月	86	2	79	1	1	1	1	1
5月	57	2	52	1	0	0	0	2
6月	76	2	69	1	3	0	0	1
7月	70	3	64	1	0	0	0	2
8月	47	3	42	1	0	0	0	1
9月	49	4	41	1	2	0	0	1
10月	53	2	49	1	0	0	0	1
11月	61	3	56	1	0	0	0	1
12月	45	8	34	1	0	1	0	1
1月	49	6	41	1	0	0	0	1
2月	65	2	55	1	2	1	3	1
3月	48	2	41	0	1	0	3	1
計	706	39	623	11	9	3	7	14

【中部地方 ESD 活動支援センター (<http://chubu.esdcenter.jp>) 更新実施表】

月	更新回数・計	更新コンテンツ					
		センター概要	事業報告	イベント&ニュース	コンテンツ紹介	地域 ESD 拠点トピック	その他
4月	26	0	0	22	1	3	0
5月	30	0	0	26	0	4	0
6月	44	2	0	39	0	3	0
7月	42	0	1	34	0	5	2
8月	19	1	0	13	0	3	2
9月	22	0	0	18	0	3	1
10月	19	0	0	15	0	3	1
11月	28	0	0	25	0	2	1
12月	23	1	0	19	0	1	2
1月	24	0	0	19	0	4	1
2月	24	0	1	20	0	2	1
3月	24	1	0	18	0	4	1
計	325	5	2	268	1	37	12

※ いずれも「3月」の数値は3月18日時点で集計を行った。

(イ) ウェブサイトのアクセス数（ページビュー数）

- EPO 中部及び中部地方ESD活動支援センターの各ウェブサイトのアクセス数（ページビュー数/Google アナリティクスにおける表示回数）は、下表の通りである。

【EPO 中部ウェブサイト】

※ 2020 年度に EPO 中部ウェブサイトをリニューアルした際、アクセス数の照会元を Google アナリティクスに移行したため、2021 年度以降は Google アナリティクスでアクセス数の把握を行っている。（従来の照会元であるサーバー会社によるアクセスレポートは特殊なシステムによるページビュー数集計を行っていたため、一般的なページビュー数を把握できる Google アナリティクスに変更した。）

照会元	Google アナリティクス				参考)2022 年度以前のサーバー会社のアクセスレポート				
	2024 年度	2023 年度	2022 年度	2021 年度	2022 年度	2021 年度	2020 年度	2019 年度	2018 年度
4 月	2,504	2,440	2,133	3,310	59,189	24,015	66,930	59,319	19,311
5 月	2,155	2,374	2,197	2,965	75,304	16,148	56,664	30,280	18,382
6 月	2,474	2,942	1,983	3,574	79,962	21,314	61,297	29,150	20,060
7 月	2,358	2,324	2,125	2,579	78,408	29,566	52,720	34,314	18,763
8 月	2,130	1,808	2,387	2,203	49,173	25,428	43,742	38,479	17,688
9 月	2,115	1,752	1,883	1,923	68,449	24,902	43,419	72,087	14,795
10 月	1,896	2,029	2,413	4,015	92,734	34,750	42,768	75,127	16,176
11 月	2,013	2,474	2,873	2,791	64,309	48,487	38,630	102,551	16,289
12 月	2,416	2,745	2,852	2,271	97,461	45,615	35,352	182,209	31,808
1 月	3,110	3,077	3,911	2,132	100,899	65,535	23,878	107,374	39,694
2 月	2,632	3,114	3,075	2,800	97,007	65,552	14,677	61,384	21,378
3 月	1,413	5,064	3,302	1,622	101,586	74,440	21,593	67,883	44,972
計	27,216	32,143	31,134	32,185	964,481	475,752	501,670	860,157	279,316

【中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイト】

照会元	Google アナリティクス						
年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度	2021 年度	2020 年度	2019 年度	2018 年度
4 月	628	938	1,057	1,115	1,165	618	595
5 月	614	997	1,030	1,368	648	828	857
6 月	703	890	1,026	1,324	1,620	955	1,301
7 月	824	1,184	1,025	1,272	1,164	832	795
8 月	708	1,326	1,331	811	827	1,111	1,144
9 月	654	1,149	963	872	797	1,232	818
10 月	579	902	775	1,463	1,179	1,192	904
11 月	849	997	949	1,240	950	1,064	1,085
12 月	668	606	761	1,302	1,420	1,139	879
1 月	564	724	623	1,052	1,183	841	841
2 月	547	1,034	861	1,025	1,080	1,181	641
3 月	455	1,200	547	731	1,099	1,258	752
計	7,793	11,947	10,948	13,575	13,132	12,251	10,612

※ いずれも《2024 年度の「3 月」》は 3 月 18 日時点のデータで集計を行った数値である。（ほかの年度の 3 月は、3 月末日時点の集計値。）

イ 収集した情報の整理・蓄積・発信（メールマガジン発行）

- 収集した公募・助成金情報、イベント情報等を整理し、毎月第2火曜日発行のメールマガジンに掲載し、次の通り、定期配信を行った。
- なお、発行済みメールマガジンのバックナンバーを、EPO 中部ウェブサイトにてアーカイブ掲載し、公開している。<https://www.epo-chubu.jp/mail-magazine>

月	号	発行日	発行数	記事数・計	掲載記事数				
					冒頭部	イベント 関連	ツール・コン テンツ	助成金・ 表彰等	その他
4月	178号	4/9	721部	30	4	10	8	5	3
5月	179号	5/14	615部	39	0	14	9	10	6
6月	180号	6/11	614部	39	4	15	2	15	3
7月	181号	7/9	617部	43	2	21	0	16	4
8月	182号	8/13	616部	33	2	9	2	20	0
9月	183号	9/10	615部	32	3	16	2	9	2
10月	184号	10/8	619部	40	3	21	3	12	1
11月	185号	11/12	619部	39	1	24	3	9	2
12月	186号	12/10	618部	32	0	17	4	9	2
1月	187号	1/14	619部	38	6	22	2	6	2
2月	188号	2/11	619部	50	4	30	3	11	2
3月	189号	3/11	617部	45	0	21	4	18	2
計				460	29	220	42	140	29

※ 「冒頭部」の記事は、中部地方環境事務所及び EPO 中部の主催イベント等お知らせ記事となっている。

ウ リーフレットの配布

- EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センターのリーフレットについて、第6期に作成した原稿をもとに、第7期の目標・役割を掲載する改訂を行った（2024年9月発行と記載）。
- 9月に300部を印刷し、主催イベント参加者や打合せ相手などへの配布を行い、2月末までに計160部を配布した。改訂前までに配布した約300部と合わせて計460部を配布した。

第7期の目標・役割を掲載

持続可能な地域づくりにEPO中部、中部地方ESD活動支援センターをご活用ください。

EPO中部が目指す地域づくり

- 持続可能な地域づくりの推進
- SDGsの推進
- SDGsの推進

中部地方ESD活動支援センターが目指す地域づくり

- SDGsの推進
- SDGsの推進
- SDGsの推進

SDGsを実施する地域

経済：地域の産業・サービス産業の振興、新たな産業の創出、SDGsの推進

社会：地域住民の生活の向上、SDGsの推進

環境：地域の環境の改善、SDGsの推進

地域：地域の活性化、SDGsの推進

持続可能であること

こんな時はEPO

- ◆相談したい、紹介してほしい
環境、ESD(教育) SDGs(サステイナブルな開発) 地域環境共生推進 について知りたい、相談・助言を求めています。
- ◆情報を知りたい、収集したい
施設内の配架コーナーに多種多様な資料があります。自由に持ち帰りください。
- ◆ミーティングスペースが利用できます
施設内のミーティングスペースをミーティングや資料閲覧にご利用いただけます。(ご利用の履歴を記録するため、事前にご連絡ください。)
- ◆広報したい、PRしてほしい
ウェブサイトやメールマガジン、イベントや事業告知、助成金申請などの情報発信を行っています。皆さんが広報したい情報やチラシなども随時、受け付けています。

環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

中部地方ESD活動支援センター

環境省 中部地方環境事務所

(2) 相談対応・対話の場づくり

- EPO 中部もしくは中部地方 ESD 活動支援センターへの相談に対し、面談打合せや資料・情報収集、マッチング作業、連絡・調整などの対応を行った。その照会・相談等の案件数は、次表の通りである。

※ 以降の「3月」の件数は、いずれも3月18日時点で集計を行った数値である。

【照会・相談・打合せ対応件数】

区分	ア 照会・相談対応等						イ 対話の体制の構築		ア+イ 対応件数 総計
	①相談に対し支援対応等を行った案件の事例件数※ ₁	照会・相談対応等の延べ件数 (左記①案件事例への対応延べ件数も含む)	来館件数 延べ件数※ ₂	②相談・照会、資料配架依頼等	会議利用	③メール・電話による相談(広報依頼等)延べ件数※ ₂	(ア)会議・セミナー等地域活動への招聘	(イ)その他打合せや地域主体との意見交換等	
4月	7	36	16	10	6	20	3	10	49
5月	4	21	8	4	4	13	0	13	34
6月	2	19	5	2	3	14	2	13	34
7月	4	37	8	5	3	29	3	13	53
8月	6	25	4	3	1	21	4	18	47
9月	4	8	3	2	1	5	0	12	20
10月	5	16	4	2	2	12	0	7	23
11月	2	7	1	0	0	6	1	11	19
12月	3	14	5	3	2	9	2	9	25
1月	0	14	3	2	1	11	3	11	28
2月	3	10	6	5	1	4	0	9	19
3月	4	9	3	2	1	6	0	10	19
計	44	216	66	40	25	150	18	136	370

※1) 事例件数: 最初の連絡から対応終了までの(その間の連絡・打合せ等を含めた)案件ごとにカウントした数となっている。

※2) 延べ件数: 同じ案件・用件であっても、来館、メール・電話等の接触回数等を個別にカウントした数となっている。

(ア) 照会・相談対応

①相談に対し(広報協力以外の)支援対応等を行った事例件数

- 相談に対し、EPO 中部/中部地方 ESD 活動支援センターが支援対応等を行った事例件数は下記の通りである。
- また、EPO が対応した照会、相談、支援等の内容については、「相談対応票」に記録し、月次で中部地方環境事務所へ提出・報告を行った。

【相談件数の合計、相談方法別件数】

	相談件数・計	相談方法			
		電話	メール	来所	その他
4月	7	2	2	3	0
5月	4	1	2	1	0
6月	2	0	0	0	2
7月	4	0	3	1	0
8月	6	2	4	0	0
9月	4	1	2	1	0
10月	5	0	2	0	3
11月	2	1	1	0	0

	相談件数・計	相談方法			
		電話	メール	来所	その他
12月	3	1	0	0	2
1月	0	0	0	0	0
2月	3	1	0	1	1
3月	4	1	1	0	2
計	44	10	17	7	10

【相談主体別の相談件数】

	相談主体の分類								
	学校・ 教育機関	大学関係	企 業	自治体	NPO・NGO	その他 事業主体	その他 行政機関	業界団体 等	その他
4月	1	0	1	2	1	0	0	1	1
5月	1	0	0	2	1	0	0	0	0
6月	0	1	1	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	1	3	0	0	0
8月	1	1	0	0	0	3	0	1	0
9月	0	0	0	0	1	2	1	0	0
10月	0	2	0	0	3	0	0	0	0
11月	0	1	0	0	1	0	0	0	0
12月	0	1	0	0	1	1	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	1	1	0	1	0	0	0
3月	0	2	1	0	0	1	0	0	0
計	3	8	4	5	9	11	1	2	1

【相談に対し EPO が行った支援内容の件数】

	EPO による支援内容分類									
	EPO スタッフの 登壇・招聘	講師等人材 紹介(EPOス タッフ以外)	活動団体等 の照会・マッ チング	教材・ツー ルの紹介・ 提供等	環境省事 業・EPO業 務の情報提 供	SDGsの情 報提供	その他の情 報提供	イベント等 の事業企画 運営	後援等名義 使用	その他
4月	4	0	0	1	0	0	0	2	0	0
5月	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
7月	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0
8月	2	1	0	0	0	0	1	0	0	2
9月	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1
10月	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0
11月	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
12月	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0
3月	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0
計	12	2	3	3	1	2	6	7	1	7

【相談対応票；具体の相談内容とEPOによる対応内容等の記録】

No.	受付日	相談者区分	相談内容	対応内容	事後報告
1	4月2日	その他	全国センター発行『2023年度レポート』を見てESDワークブックのことを知った。勉強会で使用したく冊子の送付は可能か。	<ul style="list-style-type: none"> 4/2 Webページで内容を公開していること及び申込により単ページ・記入用ファイルを提供していることをご案内した。4/5開催の勉強会での冊子使用を希望され着払いで送付した(本冊・記入用シートを各15部)。 	
2	4月10日	自治体	昨年度依頼していたプロポーザル審査員について、書面審査するのでお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> 対応を了承。 応募資料を送付いただき、書面審査を23日までに行うこととする。 	
3	4月11日	業界団体等	脱炭素経営の普及啓発事業を推進中で協力いただけないか	<ul style="list-style-type: none"> 電子チラシ等のツールが掲載されるWebページリンク、セミナー開催案内などの周知協力など対応できる旨を伝える。 必要なURL情報の連絡を後日もらうこととする。 	
4	4月15日	NPO・NGO	環境教育インストラクター応募資格取得セミナーの講師をお願いできないか。	<ul style="list-style-type: none"> 8/3～4に開催されるセミナーの講師への職員派遣を了承。詳細については別途協議 	
5	4月17日	学校・教育機関	全校生徒に脱温暖化に関する授業をしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> 対応を了承。 実施日は6/10 事前打合せを5/2に実施、依頼内容確認と意見交換 5/31来所、事前調整 	
6	4月22日	企業	アサヒ飲料主催の「SDGs 未来世代創造フォーラム」の出席等協力依頼	<ul style="list-style-type: none"> 一度来所して説明をしたいとのこと、日程調整。 5/13来所、例年同様ブース出展協力、講評登壇了承を回答。 来場者増加の工夫についての意見交換。 後援依頼について対応。 8/21イベント開催・ブース出展実施。 	
7	4月23日	自治体	市の環境審議会の委員に就任してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 3月に就任以来があり、EPO運営業務の受託後に承諾の回答を連絡 4/23に第1回審議会の日程調整のメール連絡があり回答。 4/24に第1回審議会を9/10開催とのメール連絡あり。 5/15承諾書を提出。 7/2EPO中部としてではなく、受託先(一般社団法人環境創造研究センター)として委員を引き受けることを連絡、了解いただく。 以後、環境創造研究センター職員として対応。 	<ul style="list-style-type: none"> 就任スタッフが、9月の第1回審議会、11月の第2回審議会に出席。
8	5月22日	NPO・NGO	高校生インターンへの受入を依頼したい。	<ul style="list-style-type: none"> 5/22に電話、メールで依頼あり。受け入れ方法について電話等で打合せを実施。 6/24に高校側も受け入れ方法について承知の連絡があり、実施要項案をメールで送付いただいた。 7/9NPO側が来館して、関係資料・書類を確認。受け入れ方法の変更点などを確認。 8/20インターン高校生が来館してオリエンテーションを実施。 8/21アサヒ飲料主催SDGsフォーラムの出席の手伝い、ほかの学生ブースの取材を実施。 8/22内勤で、SDGsフォーラムの取材記事作成。 8/28ESD学び合いの場①(愛知教育大学)に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 終了後、依頼主体のNPOより御礼連絡と今後の要変更点についてのヒアリングがあった。 10/10NPOの訪問があり、インターン生それぞれからのお礼状をいただいた。

No.	受付日	相談者区分	相談内容	対応内容	事後報告
9	5月23日	学校・教育機関	環境教育学会中部支部大会で発表した実践内容について助言が欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> 5/23 受領のメールに添付されていた発表スライドについて所見を記載したメールを返信。 5/28 まで4回に渡りコメントを交換。 	
10	5月29日	自治体	あいちサステイナ研究所の基礎講座で心理的側面を含めた環境コミュニケーションの講義をお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> 対応を了承。6/30PMもしくは7/7AMでスケジュールを調整。 7/7AMで確定(6/14調整)。 	
11	5月30日	自治体	県民(大人)向けに環境教育関連のデジタルブックを作成しようと思っているが、他県で作成しているところ等を教えていただけませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 5/30に問合あり。オフィス内スタッフにきいて回答差し上げると回答。 6/3に自治体作成の環境関連デジタルブックと大人向けを含む環境教育情報収集サイトをリスト化したものをメールにて送付し電話でその旨を連絡。 	
12	6月26日	企業	北陸のESD推進支援の情報が欲しい	<ul style="list-style-type: none"> 北陸ESD推進コンソーシアムを紹介 登録Webページを紹介、団体でも個人でも登録できること、必要があれば関係者を紹介する旨助言。 	
13	6月27日	大学関係	ゼミの学生にミステリーワークショップを紹介してほしい	<ul style="list-style-type: none"> ミステリーワークショップに詳しい職員を派遣。 ゼミで体験する日程を調整。7/11に実施。 	
14	7月2日	その他事業主体	地域循環共生圏について勉強したい。	<ul style="list-style-type: none"> 7/2電話で昨年度のシンポジウムに引き続き、地域循環共生圏について学びたいため、まずは打合せをしたいとの連絡あり。 7/8来館し、地域の状況、実施したいことなどをお聞きしたうえで、地域循環共生圏づくり事業について情報交換を実施。 	
15	7月12日	NPO・NGO	中部地方での学校教育現場のESDニーズを紹介してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 高校へのヒアリング結果を中心にメールで返信。 	
16	7月19日	その他事業主体	佐渡のトキ保全団体が能登地方のトキ放鳥に関する情報を求めている。協力願えないか。	<ul style="list-style-type: none"> 電話で調整、関係者の話を聞くためオンライン意見交換会を7/23に設定。 オンライン相談、能登地方のトキ放鳥については石川県に能登地域トキ放鳥受け入れ推進協議会があり県が運営している。ここを拠点にNPOが連携するのであればよいのではないか。 現在は震災でなかなか情報が入りにくい。今後情報が入れれば共有する。 7/22に電話で接触、詳細についてはオンラインで意見交換することし、7/23に設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 11/29 アンケート結果の連絡あり。 コンピテンシー「自己認識」の自己評価が高くなったこと、体験ブースが増えるにつれ、その傾向が大きくなる結果が表れた。
17	7月19日	その他事業主体	ESDCでイベント出展(SDGsクイズなどで世界の現状を知り自分事にする)際のアンケート設計について助言がほしい。	<ul style="list-style-type: none"> オンラインで打合せ意見交換、展示会のブース出展のアンケートにユネスコ8つのコンピテンシーのうち⑦自己認識コンピテンシーを紐付けることを提案。 展示会の主催者など「仕掛ける側」のアンケートをとることを提案。 出展内容のクイズなどにナッジの活用を提案。一般社団法人環境創造研究センター作成のナッジガイドを紹介。 	
18	8月2日	その他事業主体	長久手市の脱炭素チャレンジカップ応募にめたり、応援メッセージを出したいので内容を助言してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 長久手市職員の交通行動変容を「見せる化」することは非常に特色があるので、それを焦点に応援メッセージ作成を助言。 	

No.	受付日	相談者区分	相談内容	対応内容	事後報告
19	8月2日	大学関係	7/11のWSを踏まえ、学生を入れた地理総合授業ESDパッケージ検討勉強会のファシリタをお願いできないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・対応を了承。 ・調整の結果8/16に実施。 ・教職課程を含む学生4名とともに検討勉強会に参加、ファシリテーターを担う。 	
20	8月13日	その他事業主体	北陸ESD推進連絡協議会委員を依頼したい。年3回程度のオンライン会議に出席してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方ESD活動支援センターで対応する旨了解。 	
21	8月21日	学校・教育機関	ESDの職員研修で講師を紹介してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなニーズなのかをヒアリングするためオンライン打合せを設定。 ・8/27オンライン打合せ。教科とSDGsとのつながりが、紐付けるだけでなく、全体的にみることで、つながりの内容を考える、授業展開につながるきかけ作りが必要。 ・ニーズにマッチしたESD有識者を紹介し、日程を調整。結果1月30日に職員研修を設定し、講師と直接やりとりをすることとなる。 ・福井県坂井市環境政策課、岐阜県地球温暖化防止活動推進センター、愛知県地球温暖化対策課の事例について紹介。 ・活動内容であるトランプカードへの行動変容内容のデザイン挿入についてその特性を指摘しつつ、簡易にツール利用が可能な拡張性を中心に応援メッセージを作成することを助言。 	
22	8月28日	業界団体等	学校で行われている気候変動教育の事例について紹介してほしい。		
23	8月30日	その他事業主体	大学研究室の脱炭素チャレンジカップ応募にあたり、応援メッセージを出したいので内容を助言してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・9/11に照会のメールあり。 ・9/13に回答。(1)については、環境ボランティアサークル 亀の子隊及び中部整備局主催「川と海のクリーン大作戦」を紹介した。(2)については、「なごや環境大学」及びポラミアみより情報局を紹介し、各webページのイベント一覧や検索ページの活用により、活動・運営団体の情報が得られる旨申し添えた(同日、お礼のメールを受信)。 	
24	9月11日	NPO・NGO	(1)川などで清掃活動を行っている団体、(2)環境分野で積極的に活動を行っている名古屋の団体について情報を得たい。		
25	9月14日	その他事業主体	・中学校の脱炭素チャレンジカップ応募にあたり、応援メッセージを出したいので内容を助言してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・海の吸収源を保全するという、中学校生徒の活動では例のない珍しい取組であることを指摘するとともに、ウニの餌を育てる過程で緑のカーテンによる空調負荷低減や、地元供給によるフードマイル削減なども入れた応援メッセージを作成することを助言。 	
26	9月20日	その他事業主体	助成金情報を収集したい(できればハードルの低いもの。地球環境基金や環境省の地域循環共生圏事業はハードルが高い)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在チラシ配架中の助成金リーフレットを提供(イオン、セブンイレブン)。 ・EPO 中部のメールマガジンで毎月1回助成金情報を掲載していること及び登録方法、過去のアーカイブ(web サイト)を紹介した。 ・10/4に面談することとする。 	
27	9月24日	NPO・NGO	・地域循環共生圏について事業を考えたいのでご相談したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・面談では森林保全や耕作放棄地問題などへの取組など地域循環共生圏を目指した活動を始めたが、どのように活性化したらいいかの相談を受ける。 ・環境基金に応募するのはいかがとのアドバイス。ちょうど10月18日に説明会があるので、是非視聴することを紹介。 ・また10月25日にセミナーを開くに当たって地域循環共生圏の話のできる講師を紹介してほしいとの依頼について、講師を紹介。 	

No.	受付日	相談者区分	相談内容	対応内容	事後報告
28	10月8日	大学関係	<ul style="list-style-type: none"> 前回学生サミットの発表後具体化した学生グループのESD活動でイベントを企画、内容についてアドバイスがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> メール送付されたイベント企画書等の資料を確認後、オンラインでのミーティングを提案、日程を調整。 10/17日の18:30よりオンラインミーティングを設定。 オンラインミーティングでは、学生グループが企画している飯田市の動物園、及びゼロカーボン推進課との連携した、ワークショップについて検討、目的の設定や方法論についてアドバイス。 2/1の学生サミット情報の案内を実施。 	
29	10月17日	大学関係	<ul style="list-style-type: none"> 自治体職員向けに実施予定の研修会にミステリーワークショップを導入したい。ついてはファシリテーターを依頼できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 日程が12/13で対応可能のため、依頼について承諾。 11/14と12/5にオンライン打合せ 	
30	10月21日	NPO・NGO	<ul style="list-style-type: none"> NPO活動の広がりがりや市民の方との連携についてヒントがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境基金に問い合わせたところ、EPOを紹介されたとして10/21にメールで相談連絡があった。 10/22に、イベントでの企画側の仲間の増やし方、広報協力をEPOも行うこと、類似の活動を行っている協働コーディネーターの所属先との意見・情報交換の提案などをメールで返信した。 	
31	10月28日	NPO・NGO	<ul style="list-style-type: none"> 温セ中部ブロックの会合でデイスカッションのサポーターを頼めないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応を了承。 11/6の会合デイスカッションに参加。サポーターを務める。 	
32	10月28日	NPO・NGO	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県温セが1/23開催する気候危機対策交流フォーラムのトークセッションコーディネートを頼めないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応を了承 11/21に事前打ち合わせ 11/25に基調講演師とオンライン顔合わせ 12/8に関連話題で環境共生学会と打合せ 1/23フォーラムのトークセッションでコーディネートを実施 	
33	11月6日	NPO・NGO	<ul style="list-style-type: none"> 地域循環共生圏の取組方法について助言がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 11/14に電話で意見交換。具体的に地域で行われている環境保全活動に協働することから始めたかどうか、とアドバイス 	
34	11月25日	大学関係	<ul style="list-style-type: none"> 組織のニューズレターのために活動内容の取材をしたく対応をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 取材を了承、オンラインミーティングとメールで「学び合いプロジェクト」について説明、原稿案について了解した。 	
35	12月5日	大学関係	<ul style="list-style-type: none"> 飯田市のイベントでブース出展するに当たり知恵を借りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 12/25にオンライン打合せ、ブース内で簡単なワークショップを実施する提案を行った。 1月25日のイベント当日にワークショップコーディネート依頼された。了承した。 	
36	12月9日	NPO・NGO	<ul style="list-style-type: none"> 藤前干潟に関係しているNPOを教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前講師の依頼があった、NPO法人藤前干潟を守る会を紹介した。 	
37	12月25日	その他事業主体	<ul style="list-style-type: none"> 東京湾流域のイベントで水辺に関連するNPO等を紹介してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 関東EPOESDCに電話で紹介し相談いただいた。 有望な団体を紹介されたとのこと。 	
38	2月10日	企業	<ul style="list-style-type: none"> SDGsロゴの商用利用の許可申請方法について教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 商用利用のコンサルタントを紹介してほしいとのことだったが、紹介が難しいと回答した。また、商品のパッケージへの掲載といった商用利用の許可を取ることは一般的に難しいと言われていることをお伝えした。 	

No.	受付日	相談者区分	相談内容	対応内容	事後報告
39	2月12日	自治体	<ul style="list-style-type: none"> SDGs 地域づくり委託事業のプロポーザルの審査委員をお願いしたい 	<ul style="list-style-type: none"> 環境省に確認をとってお返事したい。 環境省の確認が取れたので引き受けることとする。 委託仕様書と評価項目の内容についていくつか指摘した。 	
40	2月13日	その他事業主体	<ul style="list-style-type: none"> 環境イベントの実行委員会による審議に参加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 4/14実施の実行委員会の開催案内が郵送で到着。事前に電話連絡等いただいたが、了解の返信済みである。4月上旬にも改めて連絡・案内をいただけること。 	
41	3月3日	その他事業主体	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の出前授業支援のためにオンライン会議室を使わせてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 3/14、21のオンライン会合でのZOOMアカウントの活用を了解。 	
42	3月4日	企業	<ul style="list-style-type: none"> 2024年8月のイベントレビュー説明と来年度開催についての意見交換を行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 3/17に来所いただくこととする。 3/17担当者来所、イベント全体の成果報告をいただく。 3年間続けたが次年度については、AichiSDGsExpoに参画するため単独での展示開催は終了することのこと。 3年間の取組み成果の評価を提案。価値基準となる3つの分野の6つの資本についての議論を中間支援セミナー(1/27)を例に紹介。 	
43	3月6日	大学関係	<ul style="list-style-type: none"> 万博関連イベントの後援又は協力者として、EPO中部の名義使用を依頼したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 3/6依頼者、中部事務所と確認をとり、名義使用可能と回答した。また、すぐにチラシ等への掲載も可能と回答。 中部地方ESD活動支援センターの名義使用についても勧めたが、先方事情により急ぎの案件となっていたため、全国センターへの申請手続きの時間がなく、センターの名義使用はしないことになった。 	
44	3月13日	大学関係	<ul style="list-style-type: none"> 来年度高校生の探求をサポートする「高校ESD塾」を立ち上げる。その事前企画会合にオブザーバー参加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼を了承。オンラインでオブザーバー参加することになった。 	

②来館による相談・照会、資料配架依頼等

月	件数	相談・問合せ内容
4月	10件	<ul style="list-style-type: none"> ・EPO 中部担当者の異動あいさつ ・EPO 中部の前担当者の立寄訪問 ・自治体からプロポーザル審査の依頼 ・公益社団法人から脱炭素事業に関する相談及び広報協力依頼 ・環境カウンセラーから講師依頼の相談 ・中部事務所訪問前に来館立寄 ・全国センター来館、業務説明 ・GEOC 来館 ・情報収集と待合せ ・自治体の方が資料持参
5月	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・企業から SDGs 関連催事への出展・後援依頼 ・情報収集 (2件) ・自治体から環境コミュニケーションに関する講演依頼の相談
6月	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 (2件)
7月	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・環境カウンセラーから地域循環共生圏づくりに関する相談 ・NPO と高校生インターン受入に関する打合せ ・情報収集 (2件) ・防火防災点検
8月	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・インターンシップ受入 (2件)
9月	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学と情報収集 ・助成金情報の収集
10月	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・インターン受入御礼挨拶 ・元 EPO 受託団体の方が立寄
11月	0件	—
12月	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO がご挨拶、自然関連イベント・活動等について情報収集 ・事業者が年末挨拶と意見交換 ・商工会議所がチラシ配架依頼
1月	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・配架資料見学
2月	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・環境業務の実施で利用 ・退職の挨拶 ・自治体とプロポーザル委員依頼相談 ・情報収集 (2件)
3月	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・企業と SDGs 関連催事に関する相談
計	40件	

③メール・電話による相談、問合せ、広報依頼等

月	件数	相談・問合せ内容
4月	20件	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体から環境イベント実行委員会開催についてのメール ・ESD 拠点団体からワークブック送付について照会の電話 ・一般の方から能登半島地震に関連した警備要請の電話 ・企業から自然共生サイト関連イベントについて参加募集案内のメール ・一般の方から放射能被害の相談についての電話 ・NPO 団体から打合せスペースの利用予約に関する電話 ・自治体から環境イベント会議資料配付にかかるメール ・NPO 団体から公募中の助成事業について周知協力のメール ・花粉や花粉の飛散状況について問合せの電話 ・環境カウンセラーから地域循環共生圏について問合せの電話 ・自治体からユネスコスクール支援会議の委員依頼の電話 ・環境カウンセラーから研修の広報協力依頼についてメール ・GEOC から能登震災復興シンポジウムについてのお知らせメール ・GEOC から EPO と ESD センター業務についての問合せ電話 ・自治体から環境審議会の日程調整についてのメール ・公益財団法人から環境保全関連助成金の広報協力依頼のメール

月	件数	相談・問合せ内容
		<ul style="list-style-type: none"> 自治体から環境審議会の日程の連絡メール 自治体から SDGs 関連事業への後援名義依頼のメール 自治体から高大連携事業に関する電話 一般の方から高校生のいじめに関する電話
5月	13件	<ul style="list-style-type: none"> 誤配の書類について問合せと依頼の電話 自治体から環境事業の広報協力の依頼の電話 環境教育コーディネートの打合せによる EPO 施設利用の問合せの電話 自治体から SDGs 学生サミットに関する問合せの電話 企業から後援名義使用についての問合せメール NPO 法人から助成事業の広報協力依頼のメール 公益信託から自然環境助成事業について広報協力依頼のメール 一般社団法人から講座の広報協力依頼のメール NPO 法人から高校生インターンシップ受入についての電話 (2件) 自治体から環境イベント委員にかかる問合せの電話 (2件) 自治体から環境関係デジタルブックについて問合せの電話
6月	14件	<ul style="list-style-type: none"> 自治体から県民向け教材の情報提供に対するお礼等のメール 公益社団法人から環境イベントにかかるメルマガ掲載依頼のメール NPO から高校生インターン受入方法についての問合せ 公益社団法人から環境イベントにかかる WEB/SNS 掲載依頼のメール 教育機関から昨年度開催イベントの参加人数について問合せのメール NPO から助成事業について周知協力依頼のメール マンション施工会社から鳥の巣に関する問合せの電話 財団から表彰事業について web 掲載依頼のメール 自治体から催事広報にかかるお願いのメール 教育関係者から探求学習授業の講師紹介の可否の問合せ電話 一般社団の方から環境省事業関連の募集広報の協力依頼の電話・メール NPO から高校生インターンの受入プログラム・実施要項について電話・メール (2件) 家電ゴミを引き取ってほしいという問い合わせの電話
7月	29件	<ul style="list-style-type: none"> NPO から高校生インターンにかかる打合日程・巡回日調整等の電話・メール (2件) 環境カウンセラーから地域循環共生圏について学びたい旨の電話 自治体から環境審議会の日程調整・開催日程に関するメール (2件) 環境カウンセラーから来館希望メール 他 EPO から求人の広報協力依頼のメール 種名調べ支援事業にかかる広報協力依頼のメール 一般の方からホームページ修正依頼のメールと電話 NPO から高校生インターン受入に関する書類・問合せの電話 (3件) 企業から広報画像の提供に関するメール 高校生 (インターン) 代表生徒から挨拶の電話 NPO から依頼している研修資料に関する電話 公益社団法人から掲載済の記事について修正依頼のメール 企業から出展イベントの広報データ提供のメール 顕彰事業及びシンポジウムの広報協力依頼のメール 企業から web 掲載内容について確認のメール 企業から出展催事のレイアウト及び手引きの修正について連絡のメール (3件) ほかの地方 ESD センターからアンケート手法について相談メールと電話 (2件) ほかの地方 ESD センターから能登の活動主体の紹介依頼メール 企業から出展会場下見と出展者証の管理について電話 大学生から水素社会に関する研究活動への協力依頼のメール (2件) NPO からインターンシップ受入に関する個人情報の取扱いについてのメール
8月	21件	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習施設 (自治体) からオンライン講座の広報協力依頼のメール NPO から助成事業の広報協力依頼のメール 企業から催事搬入時の書類に関する連絡のメール NPO からインターンシップ受入時の PC 及び巡回担当者について連絡の電話 全国センターから掲載済の記事について画像差替依頼のメール 全国 ESD センターから ESD ワークブックについて問合せの電話 企業から EPO 催事について問合せの電話 企業から出展催事にかかる事前登録依頼のメール インターンシップ参加学生から事前課題提出のメール (4件) NPO 法人からインターンシップ巡回について問合せの電話 一般社団法人から主催催事の広報協力依頼のメール

月	件数	相談・問合せ内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体から環境イベントについて案内のメール ・大学からプロジェクトの広報協力依頼のメール ・小学校から ESD 講師派遣依頼の電話 ・自治体から SDGs 関連事業について web 掲載依頼のメール ・NPO からインターン制度について問合せの電話 ・企業から出展イベント備品代負担にかかる連絡のメール ・環境省の補助事業について広報協力依頼の電話とメール
9月	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO から環境分野/清掃活動団体について照会のメール ・NPO から環境講座について広報依頼のメール ・環境省事業（受託事務局）から広報協力のメール ・公益財団法人から研修会広報のお礼・参加ご案内のメール ・独立行政法人からリーフレット配架依頼のメール
10月	12件	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人から脱炭素セミナーについて広報協力依頼の電話とメール ・前受託団体スタッフについて問合せの電話 ・行政機関からメルマガ配信に関する照会の電話 ・NPO 法人から礼状持参（来館）希望の電話 ・環境事務所職員募集情報について周知依頼のメール ・主催説明会の申込確認・案内メールについて問合せの電話（2件） ・協働コーディネーターから事務所開設とイベント案内のメール ・NPO 法人からコンポスト利用と市民連携について相談のメール ・催事参加者から資料提供についてのメール ・全国 EPO 連絡会②エクスカッションについての問合せの電話 ・自治体から出展イベントについて問合せの電話
11月	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・環境カウンセラーから地域循環共生圏について教授要望のメール ・公益財団法人から助成金広報依頼のメール ・環境活動団体から外来魚情報交換会の案内メール ・自治体が後援イベントの広報協力の依頼メール ・一般市民からリサイクル品の輸出入の方法についての相談の電話 ・公財法人からイベントの広報協力の依頼メール
12月	9件	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人から助成事業について案内メール ・新聞社から SDGs 表彰事業の周知協力のメール ・一般の方（ボランティア）から落ち葉等を入れる袋の配布について問合せの電話 ・環境省から職員募集についてメルマガ掲載依頼のメール ・外来魚関連シンポジウムについて案内のメール ・独立行政法人から研修事業の広報協力メール ・NPO から広報協力メール ・他 EPO から事業に関する問い合わせの電話 ・一般社団法人からバイオマス関連セミナーについて web 掲載依頼のメール
1月	11件	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人から助成金公募の案内メール ・自治体から ICT 活用講座について案内のメール ・催事申込者から問合せのメール ・自治体から催事の広報依頼についての電話とメール ・任意団体から外来魚情報交換会に関する追加情報提供のメール ・催事申込者から出欠変更の電話 ・公益財団法人からイベントの広報協力依頼メール ・他 ESD センターから催事広報協力依頼のメール（3件） ・作業部会②参加の大学教授からのご挨拶メール
2月	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・協働コーディネーターから SDGs ロゴ使用申請について問合せの電話（2件） ・ほか地方 EPO から地域循環共生圏事業に関わる問合せ電話 ・イベントの広報協力依頼メール
3月	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・企業から SDGs 関連催事についての相談日程について照会のメール ・ESD 拠点団体から後援名義使用にかかる問合せと依頼の電話 ・NPO 法人から地域循環共生圏づくり支援体制構築事業にかかる経費変更について相談のメール ・公益財団法人からメルマガ掲載確認と御礼のメール ・全国センターから関係団体の広報協力依頼メール ・中部事務所からの広報協力依頼メール・電話
計	150件	

(イ) 会議・セミナー等地域活動への招聘

- EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センターが自治体・団体等から招聘された会議等は次表の通りである。
- 会議出席のほか、講師としての登壇など、関係主体の依頼に対し適宜対応した。
- これらの会議等への出席対応を通じて、地域での協働体制の構築及びノウハウの蓄積を行うとともに、構築したネットワークをEPO業務にも活かしている。

No.	県区分	開催日	依頼主体等	依頼事業等の名称	依頼内容	方法	謝金
1	愛知	4月10日	名古屋市環境企画課	環境デーなごや実行委員会	委員	対面	あり
2	福井	4月20日	日本環境教育学会中部支部	中部支部大会	学び合いプロジェクト発表	対面	なし
3	愛知	4月23日	名古屋市環境局環境企画課	SDGsまちづくり事業プロポーザル	審査員(書面審査)	その他	あり
4	愛知	6月10日	名古屋私立山守中学校	「気候変動と脱炭素」講座	講師	対面	あり
5	愛知	6月12日	愛知県教育委員会	ユネスコスクール支援会議	委員	対面	あり
6	愛知	7月7日	愛知県環境政策課	あいちサスティナ研究所基礎講座	講師	対面	あり
7	その他	7月11日	ミステリーワークショップ体験ゼミ	都留文科大学田開研究室	話題提供者	対面	なし
8	中部	7月19日	全国地球温暖化防止活動推進センター	中部ブロック会議	話題提供者	対面	なし
9	愛知	8月3日	愛知県環境カウンセラー協会	環境教育インストラクターセミナー	講師	対面	あり
10	その他	8月16日	地理総合授業 ESD パッケージ検討勉強会	都留文科大学田開研究室	ファシリテーター	対面	なし
11	愛知	8月21日	アサヒ飲料株式会社	SDGs 将来世代想像フォーラム 2024	ブース出展	対面	なし
12	長野	8月30日	信州 ESD コンソーシアム	信州 ESD コンソーシアム通常総会	構成団体	オンライン	なし
13	愛知	11月6日	愛知県地球温暖化防止活動推進センター	中部ブロック会議	ディスカッションのサポーター	対面	なし
14	愛知	12月17日	愛知県教育委員会	ユネスコスクール支援会議	委員	対面	あり
15	愛知	12月18日	全国地球温暖化防止活動推進センター	デコ活応援団地域交流会 中部ブロック	招待参加	対面	なし
16	愛知	1月23日	愛知県地球温暖化防止活動推進センター	気候危機対策交流フォーラム	トークセッションコーディネーター	対面	なし
17	長野	1月25日	中部大学、都留文化大学	学輪IIAブース出展	ワークショップコーディネーター	対面	なし
18	その他	1月29日	北陸ESD推進コンソーシアム	北陸ESD推進連絡協議会	協議会メンバー	オンライン	なし

(ウ) そのほか打合せや地域主体との意見交換会等の実施

- 本業務に関連する地域の会合や地域活動等への参加・出席、業務協力者等との打合せを次表の通り行った。
- 地域を訪問した際には、できるだけ関係自治体や関係団体等も訪問するなどして、意見交換・情報交換や相談対応等もあわせて実施した。

No.	県区分	実施日	打合せ主体(担当組織・部署)	方法	実施内容
1	中部	4月9日	環境教育学会中部支部定例研究会	オンライン	研究会に参加、中部地方事例取材
2	愛知	4月10日	名古屋市環境局環境企画課	面談	SDGsまちづくり事業プロポーザルについての審査依頼
3	その他	4月11日	日本青年会議所GX推進委員会	面談	脱炭素経営普及啓発協力依頼
4	その他	4月16日	ESD活動支援センター	面談	年度初めの情報交換
5	その他	4月17日	GEOC	面談	年度初めの情報交換
6	愛知	4月18日	中部大学古澤先生	面談	有識者検討会への参加依頼
7	福井	4月20日	水上氏、坂井市関係者	面談	学び合いプロジェクトについての説明と依頼
8	長野	4月23日	長野県NPOセンター、茅井地区住民自治協議会	面談	地域循環共生圏事業支援についての打合せヒアリング
9	愛知	4月25日	(仮)半田市地域循環共生圏推進協議会、半田市	面談	地域循環共生圏事業支援についての打合せヒアリング
10	福井	4月26日	エコ・グリーンツーリズム水の里しらやま、合同会社ローカルSDクリエイション	面談	地域循環共生圏事業支援についての打合せヒアリング

No.	県区分	実施日	打合せ主体(担当組織・部署)	方法	実施内容
11	中部	5月1日	EPO中部ESDC有識者検討会メンバー	オンライン	第1回検討会の事前説明
12	愛知	5月2日	名古屋市立守山中学校	面談	授業実施の事前意見交換
13	その他	5月9日	環境教育学会気候変動教育研究会	オンライン	研究会成果の共有と意見交換
14	愛知	5月13日	アサヒ飲料	面談	SDGsフォーラム出展に関する意見交換
15	愛知	5月16日	愛知教育大学	面談	学び合いPワークショップについての意見交換
16	愛知	5月17日	半田市地域循環共生圏推進協議会、半田市	面談	地域循環共生圏事業支援についての打合せ
17	福井	5月21日	エコ・グリーンツーリズム水の里しらやま、合同会社ローカルSDクリエイション	面談	地域循環共生圏事業支援についての打合せ
18	長野	5月22日	長野県NPOセンター、芋井地区住民自治協議会	面談	地域循環共生圏事業支援についての打合せ
19	中部	5月22日	運営委員・伊藤座長	オンライン	運営委員会の座長レク打合せ
20	富山	5月24日	PECとやま	オンライン	全国EPO連絡会富山開催の打合せ、地域循環共生圏フォーラムについて企画打合せ
21	富山	5月24日	株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ	その他	地域循環共生圏フォーラムについて電話打合せ
22	愛知	5月29日	愛知県環境政策課	面談	あいちサステイナ研究所の講義依頼
23	愛知	5月31日	守山中学校	面談	授業実施の事前確認
24	岐阜	6月4日	飛騨高山ジオパーク推進協会	面談	ESDダイアログ協力打診
25	岐阜	6月4日	高山市環境政策課	面談	ESDダイアログ協力打診
26	岐阜	6月4日	高山市総合政策課	面談	学生サミット協力打診
27	福井	6月6日	坂井市環境課、教育委員会	面談	学び合いP実践セミナー開催依頼
28	愛知	6月7日	中部大学国際GISセンター	面談	GIS活用の情報収集
29	富山	6月7日	PECとやま、株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ	オンライン	全国EPO連絡会富山開催についての打合せ
30	富山	6月7日	NPOまちづくりスポットとやま	オンライン	全国EPO連絡会富山開催についての打合せ
31	岐阜	6月11日	高山市教育委員会	面談	ESDダイアログ協力打診
32	岐阜	6月11日	高山市環境政策課	面談	ESDダイアログ協力打診
33	岐阜	6月11日	高山市総合政策課	面談	学生サミット協力打診
34	岐阜	6月11日	飛騨高山大学連携センター	面談	地域フォーラム登壇依頼
35	その他	6月13日	白梅学園大学	面談	地域フォーラム登壇依頼と打合せ
36	愛知	6月25日	愛知教育大学	面談	学び合いの場①事前打ち合わせ
37	富山	7月4日	PECとやま、株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ、NPOまちづくりスポットとやま	オンライン	全国EPO連絡会富山開催エクスカッションについての打合せ
38	愛知	7月9日	NPOアスクネット	面談	高校生インターン受け入れの打合せ
39	その他	7月10日	早稲田大学研究チーム赤尾先生班	オンライン	地域循環共生圏事例尾鷲ヒアリング調査事前打ち合わせ
40	福井	7月10日	越前市環境政策課	オンライン	白書を読む会の打合せ
41	長野	7月16日	長野県NPOセンター	面談	地域循環共生圏事業支援についての打合せ
42	長野	7月16日	アソビ一バ、長野県NPOセンター	面談	地域循環共生圏事業支援・中間共有会の会場打合せ
43	その他	7月19日	全国EPO連絡会②四者会議	オンライン	全国EPO連絡会②富山開催についての打合せ
44	その他	7月23日	四国ESDセンター相談対応	オンライン	ESDイベント(展示会形式)に関わるアンケート実施方法についての情報交換
45	その他	7月23日	関東ESDセンター相談対応	オンライン	佐渡のトキの保全団体からの能登でのトキ放鳥への協力のマッチングの可能性について意見交換
46	富山	7月26日	富山市、NPOまちづくりスポット	面談	全国EPO連絡会②富山開催についての協力依頼打合せ
47	富山	7月26日	南砺市、PECとやま	面談	全国EPO連絡会②富山開催についての協力依頼打合せ
48	長野	7月30日	早稲田大学研究チーム、小布施町、勝亦先生	面談	GEOC、早稲田大学北信スマートテロワールヒアリング対応
49	長野	7月31日	早稲田大学研究チーム、食の未来会議、勝亦先生	面談	GEOC、早稲田大学北信スマートテロワールヒアリング対応
50	富山	8月1日	PECとやま、株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ	面談	地域循環共生圏フォーラムについての打合せ
51	岐阜	8月7日	高山市教育委員会	面談	ESDダイアログの打合せ

No.	県区分	実施日	打合せ主体(担当組織・部署)	方法	実施内容
52	三重	8月8日	早稲田大学研究チーム、尾鷲市役所	面談	GEOC、早稲田大学 尾鷲市役所 SEAモデル担当ヒアリング対応
53	三重	8月8日	早稲田大学研究チーム、中部電力	面談	GEOC、早稲田大学 中部電力ヒアリング対応
54	三重	8月8日	早稲田大学研究チーム、尾鷲商工会議所副会頭	面談	GEOC、早稲田大学 尾鷲商工会議所副会頭ヒアリング対応
55	三重	8月9日	早稲田大学研究チーム、尾鷲市長	面談	GEOC、早稲田大学 尾鷲市長ヒアリング対応
56	三重	8月9日	早稲田大学研究チーム、尾鷲商工会議所	面談	GEOC、早稲田大学 尾鷲商工会議所ヒアリング対応
57	三重	8月9日	早稲田大学研究チーム、尾鷲物産	面談	GEOC、早稲田大学 尾鷲物産ヒアリング対応
58	三重	8月9日	早稲田大学研究チーム、尾鷲商工会議所	面談	GEOC、早稲田大学 尾鷲市役所ゼロカーボン担当ヒアリング対応
59	福井	8月19日	ローカル SD クリエーション	面談	地域循環共生圏事業意見交換
60	愛知	8月20日	インターン南山女子高校	面談	インターン高校生受入対応
61	愛知	8月21日	インターン南山女子高校	面談	インターン高校生受入対応
62	愛知	8月22日	インターン南山女子高校	面談	インターン高校生受入対応
63	愛知	8月23日	インターン南山女子高校	面談	インターン高校生受入対応
64	愛知	8月26日	半田市環境課	面談	地域循環共生圏事業意見交換
65	その他	8月26日	WoW キツネザルさん事務所	オンライン	SDGs あいちエキスポ 10/10 ステージ企画登壇者との打合せ
66	愛知	8月27日	甚目寺小学校	オンライン	職員研修講師マッチング打合せ
67	その他	8月27日	全国 EPO 連絡会②四者会議	オンライン	全国 EPO 連絡会②富山開催についての打合せ
68	その他	9月1日	環境教育学会気候変動研究会	オンライン	自主課題研究:気候変動教育を進めるための教育のプログラムとシステムを考える Zoom ミーティング参加
69	岐阜	9月3日	奥飛騨ビジターセンター	オンライン	ESD ダイアログ実施要領打合せ
70	福井	9月12日	越前市環境政策課	面談	白書を読む会の会場確認打合せ
71	福井	9月12日	仁愛大学・西出教授	面談	白書を読む会への学生参加の協力依頼打合せ
72	福井	9月12日	ほたるの里丁有機農法研究会	面談	白書を読む会の登壇打合せ
73	その他	9月12日	WoW キツネザルさん事務所	オンライン	SDGs あいちエキスポ 10/10 ステージ企画登壇者との打合せ
74	その他	9月15日	日本環境共生学会	オンライン	評価手法検討 WKG 内容オンライン発表
75	三重	9月18日	鳥羽市環境課	オンライン	SH 連携:鳥羽会合企画の打合せ
76	岐阜	9月20日	奥飛騨ビジターセンター	オンライン	ESD ダイアログエクスカッション打合せ
77	富山	9月26日	協働コーディネーター:堺氏・茶木氏	面談	ハッピー上市会でのWSの事前打合せ、
78	富山	9月26日	上市町副町長、協働コーディネーター:堺氏・茶木氏	面談	地域循環共生圏フォーラム in 上市の協力依頼のご挨拶
79	富山	9月26日	ハッピー上市会、協働コーディネーター:堺氏・茶木氏	面談	地域循環共生圏フォーラム in 上市の企画検討打合せ
80	愛知	10月12日	リデザインプロジェクト:加藤氏	面談	サーキュラーエコノミー鶴舞講演イベントワークショップ打合せ
81	福井	10月15日	学び合いP有識者:古澤先生・水上氏	オンライン	学び合いプロジェクト実践セミナー打合せ
82	富山	10月15日	PECとやま、株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ	オンライン	地域循環共生圏フォーラムin上市の企画検討打合せ
83	長野	10月17日	松本大学学生	オンライン	学生ESD活動アドバイス、意見交換
84	その他	10月21日	東京都市大学	オンライン	ローカルSDGs活動評価意見交換
85	その他	10月22日	中部地方環境事務所	面談	EPO業務の展開についての意見交換
86	愛知	10月28日	中部大学福井先生、古澤先生	面談	地域づくり人づくりと環境政策に関する意見交換
87	富山	11月1日	PECとやま、株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ	面談	地域循環共生圏フォーラムin上市の運営打合せ
88	富山	11月1日	上市町町長・副町長、株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ	面談	地域循環共生圏フォーラムin上市の協力依頼のご挨拶
89	愛知	11月13日	中部大学国際ESD・SDGsセンター	オンライン	中部大学ESD・SDGs研究・活動発表会参加
90	岐阜	11月14日	岐阜市教育委員会、学校教諭、NPO	オンライン	ESDダイアログ登壇者顔合わせ、打合せ
91	岐阜	11月14日	信州大学	オンライン	ESDダイアログ登壇者顔合わせ、打合せ
92	岐阜	11月14日	一般社団法人 ふるさと体験飛騨高山	オンライン	ESDダイアログ登壇者顔合わせ、打合せ

No.	県区分	実施日	打合せ主体(担当組織・部署)	方法	実施内容
93	長野	11月14日	飯田市役所、中部大学	オンライン	飯田市職員GIS活用研修打合せ
94	三重	11月20日	鳥羽市環境課、観光商工課	オンライン	SH連携：鳥羽会合企画の打合せ
95	愛知	11月21日	愛知県環境調査センター、トークセッション登壇者	面談	気候危機対策交流フォーラム登壇者、トークセッションの打合せ
96	愛知	11月25日	愛知県環境調査センター、基調講演依頼者	オンライン	気候危機対策交流フォーラム基調講演、トークセッションの打合せ
97	富山	11月25日	PECとやま、株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ	オンライン	地域循環共生圏フォーラムin上市の運営打合せ
98	富山	12月3日	イナミライデザイン	オンライン	学生サミット登壇、活動見える化プログラム分析打合せ
99	愛知	12月6日	愛知学院大学、中部大学	面談	連携の可能性の打合せ
100	その他	12月6日	各地方EPO	オンライン	地域循環共生圏事業プロジェクトチーム打合せ
101	富山	12月9日	イナミライデザイン	オンライン	学生サミット活動見える化プログラム分析打合せ
102	愛知	12月10日	半田市地域循環共生圏推進協議会、半田市	面談	地域循環共生圏事業支援についての打合せ
103	福井	12月12日	エコ・グリーンツーリズム水の里しらやま、合同会社ローカルSDクリエイション	面談	地域循環共生圏事業支援についての打合せ
104	長野	12月13日	長野県NPOセンター、芋井地区住民自治協議会	面談	地域循環共生圏事業支援についての打合せ
105	長野	12月18日	松本大学田開研究室	オンライン	SDGs学生サミット事前会合
106	愛知	12月18日	中部大学ESDエコマネージャーチーム	オンライン	SDGs学生サミット事前会合
107	愛知	12月25日	中部ESD拠点協議会事務局長	面談	関東地方の水辺活動団体のマッチング
108	愛知	12月25日	中部大学国際GISセンター、都留文科大学	オンライン	1月25日開催学輪IDAのブース出展に関する打合せ
109	石川	1月6日	金沢星稜大学新ゼミ	オンライン	SDGs学生サミット事前会合
110	中部	1月8日	学生サミットファシリテーター	オンライン	学生サミットディスカッション打合せ
111	中部	1月8日	1/27セミナーパネリスト	オンライン	1/27セミナートークセッション打合せ
112	富山	1月9日	富山大学	オンライン	学生サミット事前会合：富山大学
113	富山	1月10日	第一学院高校富山キャンパス	オンライン	学生サミット事前会合：第一学院高校富山キャンパス
114	その他	1月14日	中部地方環境事務所	面談	適応業務関連打合せ
115	富山	1月20日	PECとやま、株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ	オンライン	地域循環共生圏フォーラムin上市の運営打合せ
116	愛知	1月22日	北名古屋環境課	面談	廃棄物政策に関わる意見交換
117	愛知	1月24日	中部大学国際GISセンター	面談	SDGs学生サミットハブ会場の打合せ
118	長野	1月25日	環境教育専門家	面談	ESDIに関するヒアリング
119	愛知	1月30日	あま市小学校教諭	面談	ESDIに関するヒアリング
120	長野	2月1日	長野県NPOセンター、芋井地区住民自治協議会	オンライン	SHミーティング
121	中部	2月3日	運営委員・伊藤座長	オンライン	運営委員会の座長レク打合せ
122	中部	2月5日	中部共進化座談会登壇者	オンライン	座談会打合せ
123	愛知	2月7日	半田市地域循環共生圏推進協議会、半田市	面談	SHミーティング
124	福井	2月12日	エコ・グリーンツーリズム水の里しらやま、合同会社ローカルSDクリエイション	オンライン	SHミーティング
125	富山	2月17日	PECとやま、株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ	オンライン	地域循環共生圏フォーラムin上市の運営打合せ
126	愛知	2月20日	株式会社スズマサ	面談	ESD・DGsヒアリング
127	愛知	2月20日	こいけやクリエイティブ	面談	ESD・DGsヒアリング
128	愛知	2月20日	豊田市環境政策課	面談	自然資本関係施設公園についてヒアリング
129	愛知	3月3日	中部圏社会経済研究所	面談	中部共進化座談会打合せ
130	富山	3月5日	PECとやま	オンライン	行動変容ヒアリング
131	愛知	3月5日	名古屋市立大学	面談	中部共進化座談会打合せ
132	愛知	3月5日	東海学園大学	面談	中部共進化座談会打合せ
133	岐阜	3月6日	高山市役所環境政策課	その他	行動変容ヒアリング(ESD ダイアログ)
134	福井	3月6日	坂井市役所環境推進課	その他	行動変容ヒアリング(学び合いP実践セミナー)

No.	県区分	実施日	打合せ主体(担当組織・部署)	方法	実施内容
135	長野	3月7日	松本大学	その他	行動変容ヒアリング(SDGs 学生サミット)
136	愛知	3月8日	名古屋市立大学、名古屋市立高校の高校生	面談	探究学習の実情や成果に関する情報収集
137	富山	3月10日	株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ	オンライン	行動変容ヒアリング
138	愛知	3月17日	アサヒ飲料	面談	8/21 イベント成果報告、意見交換

(3) 施設の維持・管理

(ア) オフィスの防火・防災管理及び解錠・施錠管理

- 防火・防災管理については、消防法に則り、EPO 中部の常勤スタッフが 2018 年度に「防火・防災管理者」講習を受講した上で消防計画書等を作成、管轄消防署への届出を行った。また、防火・防災管理者講習から 5 年度目にあたる 2023 年度に、名古屋市の防火・防災管理再講習を同スタッフが受講し、今年度も継続して防火・防災管理者を務めている。
- 入居ビル管理会社が実施する消防訓練の第 1 回目の訓練が 6 月 25 日に実施され、EPO 中部スタッフ 1 名が参加した。また、第 2 回目の総合防災訓練が 11 月 21 日に実施され、EPO 中部スタッフ 2 名が参加した。
- このほか、日常的な防火・防災対応として、身のまわりの防火・防災に関わるチェックを定期的に（週 2 回程度）実施し、関係書類等を「防火管理台帳」で保管している。
- ビル内全テナントを対象にした防火・防災検査が 7 月 23 日に実施され、消防署に提出した防火・防災点検結果報告書を中部地方環境事務所とも共有した。

【防火・防災管理点検結果報告書】

<p>別記様式第1 防火対象物点検結果報告書</p> <p>令和 6 年 8 月 15 日</p> <p>名古屋市消防署長 殿</p> <p>管理棟原者 住 所 名古屋市中区二の丸2-5-2 中部地方環境事務所 氏 名 総務課長 内田 正明 電話番号 052-955-2130</p> <p>下記のとおり防火対象物の点検を実施したので、消防法第8条の2の2第1項の規定に基づき報告します。</p> <p>記</p>		<p>別記様式第1 防災管理点検結果報告書</p> <p>令和 6 年 8 月 15 日</p> <p>名古屋市消防署長 殿</p> <p>管理棟原者 住 所 名古屋市中区二の丸2-5-2 中部地方環境事務所 氏 名 総務課長 内田 正明 電話番号 052-955-2130</p> <p>下記のとおり防災管理対象物の点検を実施したので、消防法第36条第1項において準用する同法第8条の2の2の第1項の規定に基づき報告します。</p> <p>記</p>	
防火対象物	所在地 名古屋市中区錦二丁目4番3号 名称 錦パークビル 階数 4階 強数階層の場合に管理棟原者に属する部分の名称 農産省中部環境パートナーシップオフィス	防火対象物	所在地 名古屋市中区錦二丁目4番3号 名称 錦パークビル 階数 4階 強数階層の場合に管理棟原者に属する部分の名称 農産省中部環境パートナーシップオフィス
用途等	事務所 令別表第一(15項)	用途等	事務所 令別表第一(15項)
構造・規模	耐火造 地上 22階 地下 4階 床面積 3,335.78㎡ 延べ面積 27,227.54㎡	構造・規模	耐火造 地上 22階 地下 4階 PH 2階 床面積 3,335.78㎡ 延べ面積 27,227.54㎡
点検実施日	令和 6 年 7 月 23 日	点検実施日	令和 6 年 7 月 23 日
消防法施行規則第4条の2の6第2項の適用	<input type="checkbox"/> 第1号 <input type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号	消防法施行規則第4条の2の6第2項の適用	<input type="checkbox"/> 第1号 <input type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号
点検者	住 所 名古屋市港区秋葉二丁目90番地 電話番号 052-589-3249 氏 名 渡邊 岳成 (能美防災株式会社 中部支社)	点検者	住 所 名古屋市港区秋葉二丁目90番地 電話番号 052-589-3249 氏 名 渡邊 岳成 (能美防災株式会社 中部支社)
免状	講習機関名 免状交付年月日 免状交付番号 有効期限 (国) 日本消防協会 令和 5 年 12 月 13 日 第 441600293 号 令和 11 年 3 月 31 日	免状	講習機関名 免状交付年月日 免状交付番号 有効期限 (国) 日本消防協会 令和 6 年 6 月 19 日 第 642101532 号 令和 12 年 3 月 31 日
受付欄 印	経過欄 印	備考 印	
<p>消防署長 印 令和 6 年 8 月 15 日 名古屋市消防署長 殿</p>		<p>消防署長 印 令和 6 年 8 月 15 日 名古屋市消防署長 殿</p>	
<p>備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 ※1欄は、強数階層の場合にあっては管理棟原者に属する部分の面積を記入すること。 3 消防法施行規則第4条の2の6第2項の適用は、適用される規定がある場合、該当する規定の□にレ点を記入すること。 4 ※2欄は、記入しないこと。</p>		<p>備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 ※1欄は、強数階層の場合にあっては管理棟原者に属する部分の面積を記入すること。 3 ※2欄は、記入しないこと。</p>	

(イ) 施設・設備の維持管理

- 来館者が快適に利用できるよう、オフィス内を常に整頓・整理し、施設・設備の維持管理を行った。

(ウ) その他オフィス運営に係る事務等

- オフィスの運営に必要な機材等を揃え、その使用料の支払等の維持管理に必要な事務を行った。

2024年11月に、中部地方環境事務所から貸与されているパソコン7台のうち6台について、Windows10サポート終了に伴い、廃棄処分を行うため、年度末までに事務所側へ返却するための手続きを行った（残りの貸与パソコン1台はWindows11であるため継続して使用）。

